

令和7年8月定例会 教 育 長 報 告

行 事 表	
8月 1日(金)	銀河連邦子ども留学交流解散式 (能代山本スポーツリゾートセンター「アリナス」)
〃	能代市向能代公民館・能代市向能代地域センター オープニング セレモニー (能代市向能代公民館)
8月 4日(月)	NOSHIROバスケットボールフェスタ (能代市総合体育館)
8月 6日(水)	第2回能代市中学校部活動地域移行推進協議会 (二ツ井町庁舎 大会議室)
8月14日(木)	能代市成人式 (能代市文化会館)
8月20日(水)	能代市戦没者追悼式・平和祈念式典 (能代市文化会館)
8月22日(金)	教育委員会定例会 (本庁舎 会議室9・10)
9月 2日(火)	市議会定例会 (～26日 本庁舎 議場)
9月19日(金)	第61回能代市山本郡公民館大会 (能代市文化会館)
9月24日(水)	教育委員会定例会 (本庁舎 会議室9・10)

議案第 32 号

能代市文化会館条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 29 条の規定により市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求める。

令和 7 年 8 月 22 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

議会の議決を経るべき教育関係議案に対して市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求めようとするものである。

議案第 6 1 号

能代市文化会館条例の一部改正について

能代市文化会館条例の一部を改正する条例を次のように制定する。

令和 7 年 9 月 2 日提出

能代市長 齊 藤 滋 宣

能代市文化会館条例の一部を改正する条例

能代市文化会館条例（平成 1 8 年能代市条例第 8 5 号）の一部を次のように改正する。

別表第 2 中

「

その他関係設備	ピアノ A	一式	3, 4 6 0
---------	-------	----	----------

を

」

「

その他関係設備	ピアノ S	一式	5, 1 9 0
	ピアノ A	一式	3, 4 6 0

に改める。

」

附 則

（施行期日）

1 この条例は、令和 8 年 7 月 1 日から施行する。

（準備行為）

2 この条例による改正後の能代市文化会館条例の規定による使用の許可、使用料の徴収その他必要な行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

提案理由

新たに購入するフルコンサートグランドピアノの使用料の額を定めようとするものである。

能代市文化会館条例（平成18年能代市条例第85号）新旧対照表

現行	改正後（案）
○能代市文化会館条例 第1条～第◎条 ※変更なし 別表第1 ※変更なし 別表第2（第5条関係） 付属設備等使用料 ※別記のとおり 備考 ※変更なし	○能代市文化会館条例 第1条～第◎条 ※変更なし <u>附 則</u> <u>（施行期日）</u> <u>1 この条例は、令和8年7月1日から施行する。</u> <u>（準備行為）</u> <u>2 この条例による改正後の能代市文化会館条例の規定による申請の受付、使用の許可、使用料及び利用料金の徴収、利用料金の額の承認その他必要な行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。</u> 別表第1 ※変更なし 別表第2（第5条関係） 付属設備等使用料 <u>※別記のとおり</u> 備考 ※変更なし

【別記】別表第2（第5条関係）付属設備等使用料

現行				改正後（案）			
区分	器具名	単位	金額 （円）	区分	器具名	単位	金額 （円）
舞台関係設備	（略）			舞台関係設備	（略）		
照明関係設備	（略）			照明関係設備	（略）		
音響関係設備	（略）			音響関係設備	（略）		
その他関係設備	ピアノ A	一式	3,460	その他関係設備	<u>ピアノ S</u>	<u>一式</u>	<u>5,190</u>
	ピアノ B	一式	2,310		<u>ピアノ A</u>	一式	<u>3,460</u>
	ピアノ C	一式	570		<u>ピアノ B</u>	一式	<u>2,310</u>
	ビデオプロジェクター	一式	1,150		<u>ピアノ C</u>	一式	<u>570</u>
	DVDプレーヤー	1台	570		ビデオプロジェクター	一式	1,150
	中ホールスクリーン	一式	570		DVDプレーヤー	1台	570
	展示用パネル等	一式	570		中ホールスクリーン	一式	570
	シャワー室	1回	920		展示用パネル等	一式	570
	バス浴槽	1槽	920		シャワー室	1回	920
	持込機器（1kwにつき）	1回	110		バス浴槽	1槽	920
	机	1台	50		持込機器（1kwにつき）	1回	110
	椅子	1脚	5		机	1台	50
					椅子	1脚	5

議案第 33 号

能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、別添のとおり報告書を作成するものとする。

令和 7 年 8 月 22 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について、報告書を議会に提出するとともに、公表しようとするものである。

能代市教育委員会 事務点検・評価報告書

(令和6年度対象)

令和7年8月

能代市教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	1
1	趣旨	
2	事務点検・評価の実施	
3	事務点検・評価の方法	
4	事務点検・評価の流れ	
II	事務点検・評価の結果	3
1	学識経験者の総合的意見	
2	施策体系と評価一覧	
基本目標 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進		
①	学校・家庭・地域の連携促進	9
②	親子で学び合う機会の提供	1 4
③	家庭教育の支援	1 5
④	読書活動の推進	1 6
⑤	食育の推進	1 7
基本目標 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進		
①	主体的で創意ある教育活動の推進	2 1
②	心豊かな人間性と健やかな体を育む教育の推進	2 3
③	基礎学力の向上を図る学習指導	2 6
④	幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	3 1
⑤	安全・安心な学校教育の充実と環境の整備	3 4
基本目標 3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進		
①	生涯にわたる多様な学びの機会の提供	4 2
②	学びと活動をつなげる環境づくり	4 5
③	若者の主体的な活動や地域活動への参画推進	4 7
基本目標 4 ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興		
①	子どもの文化体験活動支援	5 0
②	地域固有の文化芸術の継承	5 2
③	文化財等の調査・保存・活用の推進	5 3
基本目標 5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進		
①	学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	5 9
②	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	6 1
③	スポーツを活用した地域の活性化	6 3
④	市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	6 5
III	教育委員会の運営状況	6 7
1	教育委員会の開催状況	
2	教育委員の活動状況	

I 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすため、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「事務点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出し公表します。

2 事務点検・評価の実施

能代市では、「学び合う 感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」を基本理念に、最優先すべき目標を「学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたちを育むまちづくりの推進」と定め、令和5年度から5年間を計画期間とした「能代市教育等の振興に関する施策の大綱」（以下「大綱」という。）を令和5年3月に策定しました。

事務点検・評価の実施にあたっては、この大綱を踏まえ、次により行います。

（1）事務点検・評価の位置づけ

事務点検・評価は、大綱の進行管理として実施し、第2次能代市総合計画の進行管理と併せてPDCAサイクルを確立し、より効率的な事業進捗を図るとともに、効果的な教育行政を推進します。

（2）事務点検・評価の対象

事務点検・評価の対象は、大綱の基本目標及び施策の方向性に沿った主な事業や取組とし、その実績や成果を自己点検、自己評価したうえで、課題と今後の方向性を整理します。

3 事務点検・評価の方法

事務点検・評価は、目標に対する達成状況や成果等を基準に自己評価を行い、「目標を上回る」、「ほぼ目標どおり」、「目標をやや下回る」、「目標を大幅に下回る」の4区分とし、今後の取組の方向性は、「拡充」、「継続」、「廃止検討」、「その他」の4区分とします。

また、事務点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から外部評価をしていただきます。

秋田大学教育文化学部長	大 橋 純 一 氏
元能代第二中学校校長	佐 藤 俊 之 氏

4 事務点検・評価の流れ

（1）所管課による事務点検・評価

教育部各課及び施設等は、所管の対象事務について、事務点検・評価案（事務点検・評価シート）を取りまとめます。

(2) 内部評価

所管課がまとめた事務点検・評価案を部内検討し、次年度に向けた課題や今後の取組の方向性を定めます。

(3) 学識経験者による外部評価

事務点検・評価案に関して学識経験者の外部評価を経て、事務点検・評価報告書（以下「報告書」という。）を作成します。

(4) 教育委員会の議決

報告書を教育委員会に諮り議決をします。

(5) 議会への提出及び公表

報告書を議会へ提出し、ホームページ等で市民に公表します。

(6) 報告書の活用

能代市総合計画の第4期実施計画や翌年度予算編成において、事務点検・評価を踏まえた的確な対応に努めます。

＜参考＞

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 事務点検・評価の結果

1 学識経験者の総合的意見

大橋 純一 氏

6年度も、市の基本理念である「学び合う 感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」の実現に向けて、5つの基本目標が相互に関連しながら、地域の持続的な発展に資する取り組みが着実に進められている様子がうかがえました。各目標における実績は、数値面・内容面ともに充実しており、行政と市民、そして地域社会が一体となって歩んできた1年であったと感じます。

特に印象深かったのは、子どもたちを中心とした実践的な学びの場が、家庭や地域、さらには地元の文化・産業・自然等としっかり結びつき、地域社会に根差した人づくりが着実に進められているという点です。たとえば、ふるさと会議や模擬会社の設立、宇宙・科学技術への探究、伝統芸能・文化財を活用した活動など、学習が机上にとどまらず、地域社会と直に接続していることは、子どもたちの“ふるさと能代”への理解と愛着を育むうえで、大変有意義な取り組みであったと評価できます。

また、生涯学習、スポーツ、読書活動といった生涯にわたる学びや健康づくりの面でも、それぞれの年齢、ライフステージに応じた多様な活動機会が提供され、市民の生活全体を支える基盤が丁寧に整えられていることを感じました。若者のボランティア活動の活性化、高齢者を対象とした講座・講演会の充実、地域のスポーツイベントを通じた交流人口の拡大など、「学び」と「運動」を媒介に人と人との繋がりが合う仕組み、言うなれば能代市の地域特性を活かした独自の連帯・協働のあり方が、確かな実績とともに示されていたものと思われます。

一方、いくつかの活動において、参加者数や実施回数が目標に届かなかったものが見受けられました。これらの点については、地域の人口構成や市民の関心の変化、コロナ禍以降の生活スタイルの変容等も考慮しながら、対象層の再検討や開催方法・広報手段の工夫など、より柔軟で戦略的な見直しが求められるかもしれません。また、文化財のデータベース整備や史跡の活用など、時間と労を要する中長期的な課題については、今後も腰を据えた継続的支援が必要と感じました。

総じて、能代市の教育・文化・スポーツ施策は、量的拡充だけでなく、地域資源の活用など質的な面にも力が注がれており、地域に暮らす人々が互いに学び合い、支え合いながら、ともに豊かなまちをつくっていく姿勢が随所に表れていました。とりわけⅠ－2に最優先事項とある「学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたちを育むまちづくりの推進」、つまりは未来を担う子どもたちが能代市に誇りを持ち、地域の担い手として成長していけるような環境づくりが、諸所の持ち場で思いをひとつに、文字通り優先して取り組まれていることが印象的でした。これらの歩みが今後も継続し、より一層発展していくことを願うとともに、日々ご尽力いただいているすべての関係者の皆さまに敬意を表する次第です。

佐藤 俊之 氏

少子高齢化や地域のつながりの希薄化、コロナ禍など、現代社会が抱える課題に真正面から向き合い、それに対して「感謝と思いやり」という人間的な価値観を土台に据えた素晴らしい基本理念だと思いました。

(1)「感謝と思いやり」の育成をどう行うのか。特に子どもたちが体験的に感謝や思いやりを学ぶ「場の設定」が鍵になると思います。(2)“わ”のまちの可視化・共有化をどうするのか。「大人も子どもも」と記されているように、世代を超えた「学び合い」が大切になると思います。これらについては、中学生・高校生によるボランティア活動、各小学校区での週末体験活動、親子で参加できる地域学習、能代市の特色ある文化や事業・イベント（能代七夕、天空の不夜城、ロケット関係、民俗芸能・民俗行事、きみまちカンパニー等々）での地域活動、交流学习など、具体的な活動がたくさんあり、また、参加率もほとんどの事業・取組で「ほぼ目標どおり」以上となっています。さらに生涯学習推進事業やライフステージに応じたスポーツ活動など、年齢を問わない（年齢に応じた）学びや活動の場を提供しています。

さて、長年、学校現場で働いていた者としては、特に学校教育の課題として次の3つを考えています。①不登校児童生徒に関すること ②教職員の働き方改革 ③中学校部活動の地域移行。そして、これらの課題解決には能代市の教育目標達成のための施策、事業・取組が有効な手立てだと考えています。

①についてですが、不登校対応は、単なる「登校の有無」ではなく、子どもの心の安全・自己肯定感の回復・多様な学びの保障を軸に進める必要があると思っています。市教育委員会でも、心の教室相談員の配置、教育支援センター「はまなす広場」の設置、不登校保護者会の開催、Q-Uアンケートの実施、等々、様々な取組を行っています。引き続きご支援をお願いします。

②についてですが、教職員の働き方改革は、単なる業務時間の短縮ではなく、子どもたちにとってより良い教育環境をつくるのが本質的な目的だと思います。業務の見直し（整理・削減・効率化）の一助としてC4thを提供したり、ICT・AIドリルの活用を促したり、外部人材を活用して学校業務の役割分担を進めるなど、多様な支援をしています。継続した取組を期待します。

③中学校部活動の地域移行についてですが、地域（競技団体等を含む）と学校の協働による段階的・丁寧な移行が鍵なのだろうと考えています。市教育委員会では、「一斉」ではなく、「モデル競技（ソフトボール）」から先行実施するなどし、課題の明確化を進めていることと思います。子どもたちに多様で持続可能な活動機会を保障するためにご尽力をお願いします。

最後になりますが、掲げている基本理念は、非常に温かく、地域に根ざした教育の理想像を丁寧に表現しており、基本目標や施策も適切で順調に進められていることがうかがわれます。もちろん課題もありますが、今後とも評価と振り返りを繰り返し、「学び合う 感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」を目指してくださるようお願いします。

2 施策体系と評価一覧

基本目標		
施策の方向性		
事業・取組	6年度評価	
1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進		
① 学校・家庭・地域の連携促進		
青少年健全育成事業	A	目標を上回る
放課後子ども教室推進事業	B	ほぼ目標どおり
子ども館活動事業	A	目標を上回る
② 親子で学び合う機会の提供		
公民館活動事業	C	目標をやや下回る
③ 家庭教育の支援		
家庭教育支援事業	B	ほぼ目標どおり
④ 読書活動の推進		
読書活動推進事業	A	目標を上回る
⑤ 食育の推進		
1 学校給食事業	B	ほぼ目標どおり
2 食について理解を深める体験活動事業		
2 豊かな人間性を育む学校教育の推進		
① 主体的で創意ある教育活動の推進		
1 ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進	B	ほぼ目標どおり
2 地域と学校が一体となる学校運営協議会（コミュニティ・スクール）活動の充実		
② 心豊かな人間性と健やかな体を育む教育の推進		
自己実現を支える生徒指導	B	ほぼ目標どおり
③ 基礎学力の向上を図る学習指導		
1 基本的な学習習慣の確立	B	ほぼ目標どおり
2 子どもが主体的に取り組める学習指導		
3 ねらいに即したICTの効果的な活用		
4 AIドリルを活用した学びの個別最適化		
④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修		
1 学力向上のための研修	A	目標を上回る
2 安全・安心な学校づくりのための研修		
3 学びをより豊かにするための研修		
⑤ 安全・安心な学校教育の充実と環境の整備		
学校安全の推進	B	ほぼ目標どおり
就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進	B	ほぼ目標どおり
学校施設の老朽化対策等の推進	B	ほぼ目標どおり
3 より心豊かで生き活きたとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進		
① 生涯にわたる多様な学びの機会の提供		
生涯学習推進事業	C	目標をやや下回る
図書館管理運営事業	A	目標を上回る

②	学びと活動をつなげる環境づくり	
	公民館活動事業、勤労青少年ホーム活動事業、働く婦人の家活動事業、市民文化振興事業	A 目標を上回る
③	若者の主体的な活動や地域活動への参画促進	
	勤労青少年ホーム活動事業、公民館活動事業	A 目標を上回る
4 ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興		
①	子どもの文化体験活動支援	
	市民文化振興事業、文化会館主催事業	B ほぼ目標どおり
②	地域固有の文化芸術の継承	
	民俗芸能振興事業	A 目標を上回る
③	文化財等の調査・保存・活用の推進	
	文化財保護事業／能代文化財資料収蔵庫管理費	B ほぼ目標どおり
	檜山安東氏城館跡保存管理事業	C 目標をやや下回る
5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進		
①	学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	
	1 子どもの体力向上の推進	A 目標を上回る
	2 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進	
②	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	
	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充	B ほぼ目標どおり
	2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備	
	3 健康づくり運動の推進	
③	スポーツを活用した地域の活性化	
	1 スポーツを活用した地域づくり	C 目標をやや下回る
	2 スポーツによる交流人口の拡大	
	3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進	
④	市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	
	1 地域のスポーツ指導者等の充実	B ほぼ目標どおり
	2 スポーツ施設の充実	
	3 スポーツに関する表彰制度の整備	

6年度評価	事業・取組数
A 目標を上回る	9
B ほぼ目標どおり	13
C 目標をやや下回る	4
D 目標を大幅に下回る	0

【事務点検・評価シートにおける「子ども」「こども」「子供」表記について】

原則として「子ども」表記としていますが、事業名等の固有名称、こども家庭庁の「こども」表記の推奨による個別の事情のため、一部「こども」「子供」の表記を使用しています。

基本目標

1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進

学校・家庭・地域・行政が協働で、地域の特性や人材を活かした学習機会の充実を図り、子どもの社会性を育みます。また、子どもと大人がともに学び合う機会をつくりまします。

【施策の方向性】

① 学校・家庭・地域の連携促進

学校、家庭、地域が連携して学習活動の充実を図り、地域全体で子どもたちの健全な成長を支える取り組みを促進します。

② 親子で学び合う機会の提供

親子で楽しみながら参加できる地域学習や異世代交流の機会を提供し、親子の絆を深めるとともに、子どもの社会性を育みます。

③ 家庭教育の支援

時代の変化や子どもの成長過程に応じた情報提供や相談、様々な学習機会の提供を行い、家庭教育を支援します。

④ 読書活動の推進

思いやりや読解力、想像力を育む読書活動を推進し、気軽に読書に親しむことができる環境を整備します。

⑤ 食育の推進

学校給食や食について理解を深める体験活動事業を通して、子どもの健やかな成長を支援します。

学識経験者の意見（基本目標１）

大橋 純一 氏

学校・家庭・地域・行政が連携し、子どもたちの学びと社会性を育む多様な実践が展開されました。中高生のボランティア活動は参加率が目標を上回り、進路意識や地域とのつながりを深める貴重な機会となったことがうかがえます。地域学校協働活動では、推進員の配置によって授業補助のほか、安全確保や伝統行事支援などが充実し、他校区との交流による広がりも見られました。

子ども館事業では、JAXA連携イベントやロボット・ロケット教室、プラネタリウムなど、子どもの探究心を刺激する魅力的な講座が多数実施され、高い満足度を得ている点が評価されます。地域にしながら先進的な体験ができる環境は、能代市ならではの強みといえるでしょう。

一方、親子での学び合いは、事業数は要件を上回ったものの、参加者数は目標に届かず、今後は広報あるいは内容の工夫が求められます。家庭教育支援については、保護者や祖父母、若年層を対象とした講座が幅広く実施され、「子どもと向き合う時間を大切にしたい」といった声も寄せられるなど、家庭での意識づけに資する内容でした。

読書活動では、不読率が県平均を下回り、「能代っ子家読通帳」や秋田杉製ブックスタンドの配布など、創意ある取り組みが成果を上げています。食育では「天空の能代まんぷく給食」ほかの各活動を通じて、地域の食材や健康への関心が高められており、今後の継続が期待されます。

佐藤 俊之 氏

本目標には、現代の教育において重要な視点がしっかりと盛り込まれていると思いました。①社会全体で育てるという「共育（ともに育つ）」の理念②地域の特性や人材を活かすという「地域資源の活用」の視点③単なる知識の習得ではなく、「子どもの社会性の育成」という観点④大人が一方的に教えるのではなく、「ともに学び合う（双方向性）」という姿勢です。そして、これらの視点で充実した7つの事業・取組が行われていると捉えました。

6年度の事業では、特に「中学生・高校生のボランティア活動」、「子ども館活動事業」、「読書活動推進事業」において充実していたことがうかがえます。まさに学校・家庭・地域・行政が一体となって取り組んでいる成果ではないでしょうか。SNSやゲームに夢中になってしまう子どもが多いと思われそうですが、読書における不読率が5年度より5ポイント好結果になっていることは素晴らしいと思います。「放課後子ども教室」、「家庭教育等の講座」、「学校給食や食について理解を深める活動」についても多様な視点で、また、参加者に興味関心をもってもらい、楽しく活動してもらおうとする工夫がみられ、関係者の意欲と努力が想像できます。「公民館活動事業」については、目標を下回ったという評価ですが、低年齢の子どもの減少、出張ファミリー講座の回数減や出張施設（場所）等に原因があり、活動内容は充実しているものと判断できます。

子どもたちが地域社会の一員として成長していくために、学校や家庭が地域社会と連携し人的・物的資源を共有・活用していくことはとても重要であり、行政が「場をつなぐ」「人をつなぐ」存在として効果的に支援しているものと考えます。今後とも支援の推進をお願いします。

事業・取組	青少年健全育成事業						1-①																
方針・目標	学校、家庭、地域が連携して学習活動の充実を図り、地域全体で子どもたちの健全な成長を支える取り組みを促進します。																						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																
	中学生・高校生におけるボランティア活動参加率 (実績値)=((延べ参加者数)/(中学生・高校生相当数))×100 [目標設定基準:R4 実績値]	目標	8.6%以上																				
		実績	8.3%	10.6%																			
実績及び成果	1 中学生・高校生におけるボランティア活動への参加状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ボランティア活動の名称</th><th>参加回数</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年健全育成活動者の「非行防止キャンペーン」「みんなで遊ぼう！（地域と子どもたちとの触れ合い）」</td><td>3回</td><td>36人</td></tr> <tr> <td>きみまちの里フェスティバル</td><td>1回</td><td>75人</td></tr> <tr> <td>中高生ボランティア育成講座</td><td>7回</td><td>107人</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>11回</td><td>218人</td></tr> </tbody> </table> 2 青少年健全育成活動者に対する支援 ・「非行防止キャンペーン」「みんなで遊ぼう！（地域と子どもたちとの触れ合い）」等への支援（青少年育成能代市民会議等） ・街頭パトロールへの支援（能代地区少年保護育成委員会等）								ボランティア活動の名称	参加回数	参加者数	青少年健全育成活動者の「非行防止キャンペーン」「みんなで遊ぼう！（地域と子どもたちとの触れ合い）」	3回	36人	きみまちの里フェスティバル	1回	75人	中高生ボランティア育成講座	7回	107人	合 計	11回	218人
ボランティア活動の名称	参加回数	参加者数																					
青少年健全育成活動者の「非行防止キャンペーン」「みんなで遊ぼう！（地域と子どもたちとの触れ合い）」	3回	36人																					
きみまちの里フェスティバル	1回	75人																					
中高生ボランティア育成講座	7回	107人																					
合 計	11回	218人																					
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																				
	[説明] ・中学生・高校生におけるボランティア活動への参加率は10.6%で、目標値8.6%との差は+2.0ポイントであった。 ・「地域の方と交流できてよかった。」「年下の子どもたちと交流できてよかった。」「将来希望している仕事に関連した活動に参加できてよかった。」等の声が寄せられるなど、参加者の感想は概ね好評であった。 【中学生・高校生におけるボランティア活動への参加率（6年度）】 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>ボランティア活動参加者数</td><td>218人</td></tr> <tr> <td>中学生・高校生相当数（年度末時点）</td><td>2,055人</td></tr> <tr> <td>参加率</td><td>10.6%</td></tr> </tbody> </table>								ボランティア活動参加者数	218人	中学生・高校生相当数（年度末時点）	2,055人	参加率	10.6%									
ボランティア活動参加者数	218人																						
中学生・高校生相当数（年度末時点）	2,055人																						
参加率	10.6%																						
課題及び今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] 今後も引き続き、中学生・高校生が地域のボランティア活動に関心を持ち、自主的にボランティア活動に参加する機運づくりに努める。																						

事業・取組	放課後子ども教室推進事業					1-①								
方針・目標	学校、家庭、地域が連携して学習活動の充実を図り、地域全体で子どもたちの健全な成長を支える取り組みを促進します。													
目標指標	指標			R5	R6	R7	R8	R9						
	各小学校区での週末体験活動の実施回数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:7校区×5回]		目標	35回以上										
			実績	30回	35回									
実績及び成果	1 放課後子ども教室の実施状況													
	区分	5年度				6年度								
		実施校区数	実施日数	参加者数	平均	実施校区数	実施日数	参加者数	平均					
	図書室等開放	7校区	1,387日	21,996人	2.2人	7校区	1,392日	24,754人	2.5人					
	体育館開放	3校区	64日	869人	4.5人	3校区	68日	767人	3.7人					
	プール開放	7校区	87日	6,200人	10.1人	7校区	91日	6,645人	10.4人					
	週末体験活動	7校区	30日	381人	1.8人	7校区	35日	322人	1.3人					
	平日体験活動	0校区	0日	0人	0.0人	2校区	4日	62人	7.7人					
	合計		1,568日	29,446人			1,590日	32,550人						
	(週末体験活動の主な内容) ・石ころアート体験、クリスマスケーキづくり体験、果物収穫体験等													
点検・評価	2 地域学校協働活動の実施状況 地域学校協働活動推進員を15名委嘱(全小・中学校区に各1名を配置、ただし四小・向能代小学校区は各2名を配置) (活動の主な内容) ・学習支援(授業補助、職場体験、新入生の給食補助等) ・安全確保(登下校指導、学区内パトロール等) ・学校祭等の支援(学校祭、学校七夕、地域の伝統芸能等)													
	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る											
	[説明] ・週末体験活動の実施回数は、全小学校区で5回、合計35回で目標値35回との差は±0であった。 ・令和6年度から7小学校区を3つのグループへ分けて実施したところ、児童及び保護者双方から「他校区の子どもたちとも交流できてよかった。」といった声が寄せられるなど、受講者の感想は概ね好評である。													
課題及び今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他()													
	[具体的な課題及び取組] 様々なネットワーク等を生かしながら、安全管理員等の確保及び体験活動内容等の充実を図るとともに、こどもの安全・安心な居場所づくりに努める。													

事業・取組	子ども館活動事業						1-①	
方針・目標	市民の興味や関心を高めるような、施設を利用したイベント・講座を提供し、子どもから大人まで幅広く気軽に交流できる子ども館を目指します。							
目標指標	指標			R5	R6	R7	R8	R9
	講座受講者の満足度 (実績値)=(受講者アンケートの肯定的回答の割合)		目標	90%以上				
			実績	94.7%	95.5%			
実績及び成果	1 来館者の推移							
	区分		5年度		6年度			
	総来館者数		36,457人		43,247人			
	事業活動参加者数		455件、7,638人		1,150件、11,722人			
	プラネタリウム観覧者数		6,664人		6,119人			
	うち団体観覧者数		59件、1,707人		54件、1,511人			
	2 イベント・講座等実績							
	(1) 主なイベント・講座							
	・星空のプラネタリウム♪（熟睡プラ寝たリウム含む）				2件、		103人	
	・ペットボトルロケット教室				8件、		64人	
	・モデルロケット教室				6件、		41人	
	・スペースラボ				4件、		25人	
	・コズミックカレッジ				4件、		45人	
	・自然観察会				1件、		2人	
	・風の松原チャレンジ！				※熊出没警戒のため中止			
	・かがくあそび				12件、		219人	
	・ロボット・プログラミング講座				32件、		208人	
	・星空観察会				4件、		69人	
	・『N. らぼ』の科学実験				2件、		52人	
	・わくわくミニ工作				6件、		135人	
(2) 特別イベント								
・「はやぶさの日」イベント								
紙筒ロケットを作ってとばそう！				3件、		52人		
プラネタリウム無料投映				5回、		101人		
・のしろ銀河フェスティバル 2024								
ペットボトルロケット工作教室				2件、		39人		
ペットボトルロケット打ち上げ大会				※台風の影響により中止				
ストローロケットを作って飛ばそう！				2件、		40人		
ギャラリートーク「実験で学ぶM-3SⅡロケット」				4件、		41人		
プラネタリウム無料投映				10回、		507人		
特別展示「版画で学ぶ宇宙開発」スペースカバー特別展示				7日間、3,605人				
こてつくんが子ども館にやってくる！（写真撮影会）				2件、		146人		
プラネタリウム講演会「JAXAメンバーによるSLIMのお話」				2件、		71人		
SLIM搭載ロボットを動かそう				2件、		60人		

	・パブリックビューイング H3ロケット4号機打上げ 23人 カイトスロケット2号機打上げ（延期2回あり） 6人 (3) 展示室を活用した宇宙科学への関心を高める工夫 ・スペシャルミッション！ <table border="1"> <tr> <td></td><td>幼児～小学3年生</td><td>小学4年生～一般</td></tr> <tr> <td>参加者数</td><td>217人</td><td>90人</td></tr> <tr> <td>正解者数</td><td>214人</td><td>72人</td></tr> </table> ・子ども館ウォークラリー 157件、 391人 ・子ども館クイズラリー 730件、 825人 ・子ども館宇宙検定 <table border="1"> <tr> <td></td><td>初級編</td><td>中級編</td><td>上級編</td></tr> <tr> <td>参加者数</td><td>26人</td><td>2人</td><td>3人</td></tr> <tr> <td>合格者数</td><td>15人</td><td>2人</td><td>1人</td></tr> </table> ・宇宙ラボガイド 56件、 283人		幼児～小学3年生	小学4年生～一般	参加者数	217人	90人	正解者数	214人	72人		初級編	中級編	上級編	参加者数	26人	2人	3人	合格者数	15人	2人	1人			
	幼児～小学3年生	小学4年生～一般																							
参加者数	217人	90人																							
正解者数	214人	72人																							
	初級編	中級編	上級編																						
参加者数	26人	2人	3人																						
合格者数	15人	2人	1人																						
点 検 ・ 評 価	<table border="1"> <tr> <td>評価</td><td>A</td><td> A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る </td></tr> </table> [説明] ・講座受講者アンケートの肯定的回答の割合は95.5%で、目標値90%との差は+5.5ポイントであった。 ・「やや不満足」「不満足」の回答数と割合については、令和5年度アンケートと変わらずとなった。 【講座受講者アンケート結果（6年度）】 ※（ ）は5年度数値 <table border="1"> <tr> <td>項目</td><td>満足</td><td>やや満足</td><td>ふつう</td><td>やや不満足</td><td>不満足</td><td>計</td></tr> <tr> <td>人数(人)</td><td>556 (543)</td><td>58 (58)</td><td>23 (28)</td><td>4 (4)</td><td>2 (2)</td><td>643 (635)</td></tr> <tr> <td>割合(%)</td><td>86.5 (85.5)</td><td>9.0 (9.2)</td><td>3.6 (4.4)</td><td>0.6 (0.6)</td><td>0.3 (0.3)</td><td></td></tr> </table>	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る	項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足	計	人数(人)	556 (543)	58 (58)	23 (28)	4 (4)	2 (2)	643 (635)	割合(%)	86.5 (85.5)	9.0 (9.2)	3.6 (4.4)	0.6 (0.6)	0.3 (0.3)	
評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																							
項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足	計																			
人数(人)	556 (543)	58 (58)	23 (28)	4 (4)	2 (2)	643 (635)																			
割合(%)	86.5 (85.5)	9.0 (9.2)	3.6 (4.4)	0.6 (0.6)	0.3 (0.3)																				
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] ①展示室「ノビシロ宇宙ラボ」の活用 リニューアルした1階の体験型展示、JAXA宇宙科学研究所の全面協力による2階の衛星模型等を活用し、市が掲げる「宇宙のまち」を感じることができる身近な施設として、子どもから大人まで楽しみながら宇宙や科学について学べる機会を提供する。 ②宇宙教育の充実 ・モデルロケット教室やペットボトルロケット教室の開催 ・JAXAや日本宇宙少年団ノシロ分団等の関連機関・団体との連携 ・能代市や秋田県にも関係のあるロケット打上げ等の情報発信 ③子ども館事業の充実 事業内容PRによるリピーターや新規利用者の獲得を目指し、驚きや感動を引き出す科学実験講座、地域の自然環境に理解を深める体験活動等、内容の充実を図る。 ④デジタルプラネタリウムの利用拡大																								

	プラネタリウム番組の投映のほか、熟睡プラ寝たリウム等の大人でも気軽に星空を楽しめる事業を実施し、利用者層の拡大を図る。 ⑤小・中学校、高校との連携強化 ・学習プラネタリウム（プラネタリウムを用いた天体関連の授業）の実施 ・施設見学、職場体験（中学生）、インターンシップ（高校生）等の受け入れ
--	--

事業・取組	公民館活動事業						1-②	
方針・目標	親子で楽しみながら参加できる地域学習の機会を提供し、親子の絆を深めるとともに、子どもの社会性を育みます。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	中央公民館開催事業の参加者数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	367人以上					
		実績	380人	210人				
実績及び成果	1 中央公民館開催事業内訳 (数値は延べ数)							
	分野	事業名	内容				参加者数	
	家庭教育	親子わくわく教室	親子で学ぼう！時短にも非常時にも役立つパッキング講座				22人	
			親子で体験!!サンドアート講座				23人	
			ぼくもわたしも陶芸家（2回）				延べ45人	
			親子でふれあいヨガ講座				6人	
			冬休みエンジョイ♪スクラッチワーク				6人	
			能代の特産品「鶴形そば」を作ろう！				26人	
		親子でTOMO育講座	親子で作ろう！エコクラフト講座				18人	
			冬休み親子クレイクラフト講座				12人	
		出張ファミリー講座	親子で元気に体を動かそう！（まつばら保育園）				12人	
			親子でパティシエ♪（愛慈幼稚園）				14人	
	サイエンスショー 液体窒素を使った実験（能代支援学校）				26人			
	計	3事業	12回				210人	
	点検・評価	評価	C	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る				
[説明] ・中央公民館開催事業の参加者数は 210 人で、目標値 367 人との差は△157 人であった。 ・中央公民館指定管理者と締結している基本協定書において、児童及び保護者を対象に、子どもと大人がともに学び合う機会を提供するために年 2 事業以上行うこととしており、これを上回る 3 事業の実施であった。								
課題及び今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他（ ）							
	[具体的な課題及び取組] 引き続き指定管理者と情報交換を密にして、親子で楽しみながら参加できる地域学習の機会の提供に努める。							

事業・取組	家庭教育支援事業					1-③																															
方針・目標	時代の変化や子どもの成長過程に応じた情報提供や相談、様々な学習機会の提供を行い、家庭教育を支援します。																																				
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																														
	講座受講者の満足度 (実績値)=(受講者アンケートの肯定的回答の割合)	目標	90%以上																																		
		実績	95.0%	92.5%																																	
実績及び成果	1 保護者を対象とした家庭教育講座 「家庭教育の必要性とその大切さについて」「小学校入学が近づいた子どもとの関わり方について」「性教育及び命の大切さに関すること」等 25回開催（受講者 693 人） 2 祖父母等を対象とした「集まれ！おじいちゃん、おばあちゃん（孫かて）講座」 2回開催（受講者 21 人） 3 次代の親を対象とした家庭教育（育児体験） 3回開催（参加者 22 人） 4 家庭教育通信「Only one」の発行 3回発行 (参 考) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">5 年度</th><th colspan="2">6 年度</th></tr> <tr> <th>開催数</th><th>受講者数</th><th>開催数</th><th>受講者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭教育講座</td><td>24 回</td><td>612 人</td><td>25 回</td><td>693 人</td></tr> <tr> <td>孫かて講座</td><td>1 回</td><td>7 人</td><td>2 回</td><td>21 人</td></tr> <tr> <td>育児体験</td><td>5 回</td><td>20 人</td><td>3 回</td><td>22 人</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>30 回</td><td>639 人</td><td>30 回</td><td>736 人</td></tr> </tbody> </table>								区 分	5 年度		6 年度		開催数	受講者数	開催数	受講者数	家庭教育講座	24 回	612 人	25 回	693 人	孫かて講座	1 回	7 人	2 回	21 人	育児体験	5 回	20 人	3 回	22 人	合 計	30 回	639 人	30 回	736 人
区 分	5 年度		6 年度																																		
	開催数	受講者数	開催数	受講者数																																	
家庭教育講座	24 回	612 人	25 回	693 人																																	
孫かて講座	1 回	7 人	2 回	21 人																																	
育児体験	5 回	20 人	3 回	22 人																																	
合 計	30 回	639 人	30 回	736 人																																	
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																		
	[説明] ・講座受講者アンケートの肯定的回答の割合は 92.5%で、目標値 90%との差は+2.5 ポイントであった。 ・「こどもを褒めることの重要性を知ることができた。」「こどもと向き合う時間を大切にしたいと思った。」等の声が寄せられるなど、受講者の感想は概ね好評であった。																																				
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 () [具体的な課題及び取組] 講座の内容等を工夫しながら、今後も引き続き、保護者がこどもに対して行う教育（家庭教育）の支援に努める。																																				

事業・取組	読書活動推進事業						1-④																																																						
方針・目標	思いやりや読解力、想像力を育む読書活動を推進し、気軽に読書に親しむことができる環境を整備します。																																																												
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																																																						
	不読率（1 か月に 1 冊も本を読まないこどもの割合）県平均との差 (実績値)=(各学年((県平均)-(市割合))の計)/(学年数)	目標	0 ポイント未満																																																										
		実績	△2.7 p	△7.7 p																																																									
実績及び成果	(主な取組内容（第2次能代市子ども読書活動推進計画に基づいた取組）) 1 「能代っ子家読通帳」を作成し、小学生、中学生へ配付 2 様々な方のおすすめ本を広報のしろで紹介 「読んでみて！わたしの推し本」（12 回掲載） 3 秋田杉製ブックスタンドキットを作製し、小学4年生へ配付 4 読書活動推進講座 「こんな方法もある夏の暑さ対策～農家の手作り液体資材～」																																																												
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																										
	[説明] ・不読率県平均との差は△7.7 ポイントで、目標値 0 ポイントとの差は△7.7 ポイントであった。 【不読率（県学習状況調査）】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">5 年度</th><th rowspan="2">比較</th><th colspan="2">6 年度</th><th rowspan="2">比較</th></tr> <tr> <th>能代市</th><th>県平均</th><th>能代市</th><th>県平均</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td><td>7.1%</td><td>4.9%</td><td>+2.2 p</td><td>2.5%</td><td>7.6%</td><td>△5.1 p</td></tr> <tr> <td>小学5年</td><td>1.8%</td><td>7.3%</td><td>△5.5 p</td><td>2.8%</td><td>9.4%</td><td>△6.6 p</td></tr> <tr> <td>小学6年</td><td>1.5%</td><td>9.3%</td><td>△7.8 p</td><td>1.8%</td><td>10.2%</td><td>△8.4 p</td></tr> <tr> <td>中学1年</td><td>7.9%</td><td>10.0%</td><td>△2.1 p</td><td>4.6%</td><td>12.6%</td><td>△8.0 p</td></tr> <tr> <td>中学2年</td><td>13.0%</td><td>13.7%</td><td>△0.7 p</td><td>4.1%</td><td>14.7%</td><td>△10.6 p</td></tr> <tr> <td>平 均</td><td>—</td><td>—</td><td>△2.7 p</td><td>—</td><td>—</td><td>△7.7 p</td></tr> </tbody> </table>								区 分	5 年度		比較	6 年度		比較	能代市	県平均	能代市	県平均	小学4年	7.1%	4.9%	+2.2 p	2.5%	7.6%	△5.1 p	小学5年	1.8%	7.3%	△5.5 p	2.8%	9.4%	△6.6 p	小学6年	1.5%	9.3%	△7.8 p	1.8%	10.2%	△8.4 p	中学1年	7.9%	10.0%	△2.1 p	4.6%	12.6%	△8.0 p	中学2年	13.0%	13.7%	△0.7 p	4.1%	14.7%	△10.6 p	平 均	—	—	△2.7 p	—	—	△7.7 p
区 分	5 年度		比較	6 年度		比較																																																							
	能代市	県平均		能代市	県平均																																																								
小学4年	7.1%	4.9%	+2.2 p	2.5%	7.6%	△5.1 p																																																							
小学5年	1.8%	7.3%	△5.5 p	2.8%	9.4%	△6.6 p																																																							
小学6年	1.5%	9.3%	△7.8 p	1.8%	10.2%	△8.4 p																																																							
中学1年	7.9%	10.0%	△2.1 p	4.6%	12.6%	△8.0 p																																																							
中学2年	13.0%	13.7%	△0.7 p	4.1%	14.7%	△10.6 p																																																							
平 均	—	—	△2.7 p	—	—	△7.7 p																																																							
課題及び今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・「第3次能代市こども読書推進活動計画」に沿って各種施策に取り組む。 ・今後も引き続き、学校・家庭・地域との連携を図りながら読書活動の推進に努める。																																																												

事業・取組	1 学校給食事業 2 食について理解を深める体験活動事業						1－⑤																																												
方針・目標	1 健康的で豊かな食生活を実践し、食育推進に取り組みます。 2 食の安全・安心に関する知識の提供に努めます。																																																		
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																																												
	朝食を毎日食べる児童生徒の割合 (実績値)=(全国学力・学習状況調査結果)	目標	95%以上																																																
		実績	95.0%	92.7%																																															
実績及び成果	1 学校給食事業 ・給食だより（予定献立表）や食育だよりを発行し、家庭へ食育や給食についての情報を提供。朝ごはんの効果等をアピールし、「早寝・早起き、朝ご飯」を推進した。（各調理場月1回） ・栄養教諭が給食時間に訪問し、食事に関する情報提供を行った。（南部12回、北部12回、二ツ井10回） ・栄養教諭による、食事と健康に関する食育授業を行った。（南部12回、北部10回、二ツ井5回） ・中学生へスポーツ栄養についての指導を行った。（北部共同調理場） ・食育の日（毎月19日）に地場産物を活用したり、季節に応じたテーマを決めた献立や減塩の献立等を提供した。（各調理場月1回） ・地域の食材をふんだんに使い、能代らしさがつまった「天空の能代まんぷく給食」（3調理場栄養士考案市内小中学校統一メニュー R3～）を提供。当日は、給食一口メモや家庭へのお便りを配布し、地域の食材への理解を深めた。また、南部共同調理場では、動画を作成し、授業等で活用した。 ・給食写真や給食に関する話題、地域の食材、調理の様子動画などを第四小学校のブログで紹介。栄養教諭が毎日更新している。（南部共同調理場） ・中学校3年生を対象に、もう一度食べたい給食のアンケートをとり、卒業間近に「リクエスト給食」を提供し、好評であった。（北部共同調理場、二ツ井共同調理場） ・家庭科で6年生が考案した学校給食献立を、献立表で紹介するとともに実際に給食で提供した。（北部共同調理場、二ツ井共同調理場） 学校給食における主な品目の県内産の使用割合【学校給食物資使用調査】 <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">4年度</th><th colspan="2">5年度</th></tr><tr><th>市</th><th>県平均</th><th>市</th><th>県平均</th></tr><tr><td>野菜</td><td>36.0%</td><td>25.5%</td><td>30.8%</td><td>21.4%</td></tr><tr><td>果物</td><td>87.3%</td><td>87.9%</td><td>100.0%</td><td>85.5%</td></tr><tr><td>肉類</td><td>59.3%</td><td>35.3%</td><td>58.0%</td><td>57.7%</td></tr><tr><td>魚類</td><td>0.0%</td><td>5.8%</td><td>0.0%</td><td>6.0%</td></tr><tr><td>大豆製品</td><td>89.3%</td><td>78.8%</td><td>89.7%</td><td>81.5%</td></tr><tr><td>穀類・乳類</td><td>100.0%</td><td>98.4%</td><td>100.0%</td><td>72.1%</td></tr><tr><td>総合計</td><td>81.0%</td><td>75.4%</td><td>76.9%</td><td>59.4%</td></tr></table>							区分	4年度		5年度		市	県平均	市	県平均	野菜	36.0%	25.5%	30.8%	21.4%	果物	87.3%	87.9%	100.0%	85.5%	肉類	59.3%	35.3%	58.0%	57.7%	魚類	0.0%	5.8%	0.0%	6.0%	大豆製品	89.3%	78.8%	89.7%	81.5%	穀類・乳類	100.0%	98.4%	100.0%	72.1%	総合計	81.0%	75.4%	76.9%	59.4%
区分	4年度		5年度																																																
	市	県平均	市	県平均																																															
野菜	36.0%	25.5%	30.8%	21.4%																																															
果物	87.3%	87.9%	100.0%	85.5%																																															
肉類	59.3%	35.3%	58.0%	57.7%																																															
魚類	0.0%	5.8%	0.0%	6.0%																																															
大豆製品	89.3%	78.8%	89.7%	81.5%																																															
穀類・乳類	100.0%	98.4%	100.0%	72.1%																																															
総合計	81.0%	75.4%	76.9%	59.4%																																															

	2 食について理解を深める体験活動事業 - 給食保護者試食会やPTAにおいて、食育に関する講話、資料提供を行った。 (南部共同調理場) - 給食保護者試食会において、学校給食に関する講話、資料提供を行った。 (二ツ井共同調理場) - 放課後子ども教室において食に関する講座を開催した。(5回、延べ105人) - 中央公民館、二ツ井公民館、各地区公民館などにおいて、食に関する講座を開催した。(16回、延べ208人)										
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る								
	[説明] ・朝食を毎日食べる児童生徒の割合は92.7%で、目標値95%との差は△2.3%であった。 【朝食を毎日食べる児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査）】 <table border="1"> <tr> <td></td><td>5年度</td><td>6年度</td></tr> <tr> <td>市</td><td>95.0%</td><td>92.7%</td></tr> <tr> <td>県平均</td><td>94.9%</td><td>94.4%</td></tr> </table>				5年度	6年度	市	95.0%	92.7%	県平均	94.9%
	5年度	6年度									
市	95.0%	92.7%									
県平均	94.9%	94.4%									
課 題 及 び 今後の方向性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他（ ） [具体的な課題及び取組] ① 栄養教諭による食育指導 - 栄養教諭による教科等と連携した栄養指導を行う。 - 保護者へのレシピ配付や給食試食会での栄養教諭の講話など、家庭で話題にできる講座の実施を推進していく。 ② 学校給食における地場産農産物の活用 - 地場産野菜等は、安定した量の確保の課題がある。引き続き、産地直売所、市内青果店と情報を共有しながら、積極的に活用するよう努めていく。 - 市内小中学校統一メニュー「天空の能代まんぷく給食」について、さらに周知を広げていきたい。マスコミへの情報提供を積極的に行い、テレビや新聞に取り上げてもらうことにより、家庭や地域へ学校給食の地場産物活用等についてPRしていく。 ③ 学校として取り入れる取組 - 学校だよりで「朝食を毎日食べる子どもの割合」の情報提供などを行うとともに、朝ごはんの大切さを呼び掛ける。										

基本目標

2 豊かな人間性を育む学校教育の推進

積極的に学校と地域が交流・連携し、感謝と思いやりにあふれた豊かな心と健やかな体、そして「自ら学び、考え、行動する力」をもった児童生徒の育成に取り組みます。

【施策の方向性】

① 主体的で創意ある教育活動の推進

児童生徒の感性を磨き、創造力を豊かにするため、ふるさと教育の推進や宇宙・科学技術の学びの充実を図るなど、各学校の主体的で創意ある教育活動を推進します。

② 心豊かな人間性と健やかな体を育む教育の推進

いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題について、未然防止や早期発見、即時対応等を適切に行うよう努めるとともに、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム(*1)の構築を目指します。また、たくましく生きるための体を育成します。

③ 基礎学力の向上を図る学習指導

児童生徒の基礎学力の確実な定着を図るとともに、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的な深い学びの実現を目指します。

④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修

研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させます。

⑤ 安全・安心な学校教育の充実と環境の整備

児童生徒が安全・安心で楽しい学校生活を送るため、学校安全に関する指導を推進するとともに、学校施設の適切な維持管理や必要な支援員の配置、就学援助等の教育環境を整えます。

(*1)「インクルーシブ教育システム」：障害者が精神的及び身体的な能力を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とする目的のもと、障害のある方と障害のない方が共に学ぶ仕組み。

学識経験者の意見（基本目標 2）

大橋 純一 氏

「自ら学び、考え、行動する力」を育む教育活動が、多面的に展開されました。特に「未来を創る能代っ子ふるさと会議」では、地域課題に向き合い、全中学2年生・小学6年生が提言を行うなど、主体的な学びと地域意識の高まりが感じられました。模擬会社の事業ごとの活動や伝統行事への参加、宇宙開発に関する探究など、各校の特色ある実践も充実しており、児童生徒の学習意欲の高まりが数字にも表れています。

心のケアや支援体制の整備も着実に進められており、相談員やスクールカウンセラーの配置、教育支援センターの活用などにより、安心して学べる環境づくりがなされています。学校生活の満足度も高く、「学校が楽しい」との肯定的回答が全学年で目標値を上回った点は注目に値します。

学力面では、県平均を上回る成果や、ICT・AIドリルを活用した個別最適な学びの推進など、主体的・対話的な授業改善が図られています。また、教職員研修では、豊島区とのオンライン交流や専門性の高い講師による内容充実が見られ、現場への還元も意識された構成となっていました。

安全・安心な教育環境の整備についても、通学路点検や学校施設の大規模改修が計画的に進められ、食の安全にも万全が期されていました。加えて、奨学金制度や就学援助の周知も行き届いており、家庭の経済状況に左右されない学習環境の保障が図られている点も評価できます。全体として、児童生徒一人ひとりの学びと心身の成長を支える実践が、バランスよく展開された1年でした。

佐藤 俊之 氏

本目標は、①「豊かな心」「感謝と思いやり」といった人間性の育成②子どもたちの社会性や多様な価値観に触れる機会を増やすために「学校と地域の連携」を重視③「豊かな心」「健やかな体」「自ら学び、考え、行動する力」という心・体・知のバランスがとれている④「自ら学び、考え、行動する力」という未来志向の育成という、子どもたちが「人として大切なこと」を学びながら、自立して生きていくための力を育むという、素晴らしい目標だと思います。そして、ここで実施されている施策や取組は、その目標にふさわしいものだと評価できます。

ふるさと・キャリア教育では能代市の特色ある文化や事業（ふるさと会議、能代七夕、ロケット関係など）への関わりを通して、地域のよさや自らの貢献を考える活動になっていることがうかがえます。また、生徒指導上の諸課題に対応する取組として、特に、増加する不登校問題への対応、さらに、幼児通級教室「すてっぷ」・特別支援教室「ステップアップ」を通したインクルーシブ教育システム構築への努力が感じられます。そして、基礎学力の向上を図るために県学習状況調査の結果から成果と課題を把握し、各学校への指導や各種研修会の実施、また、授業改善の一助としてICTやAIドリルの活用を促し、学校・家庭での学習の充実を図っています。教職員の指導力向上のための研修は、参加した教職員の満足度の高さから、研修テーマが精選されていることや研修内容が充実していることを想像することができます。さらに、学校の安全・安心については、教育活動における安全指導はもちろん、学校施設のスピードある点検・改善、計画的な老朽化対策、工夫された防災訓練などのしっかりとした取組がみられます。就学援助、奨学金事業などの家庭への経済的支援でも、能代市は大変充実しています。

本基本目標を達成するための施策・事業は、すべてが「ほぼ目標どおり」以上であります。が、現状維持を良しとせず、今後も改善をしながら取り組んでいただけるようお願いします。

事業・取組	1 ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進 2 地域と学校が一体となる学校運営協議会（コミュニティ・スクール）活動の充実						2-①
方針・目標	児童生徒の感性を磨き、創造力を豊かにするために、ふるさと教育の推進や宇宙・科学技術の学びの充実を図るなど、各学校の主体的で創意ある教育活動を推進します。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」の肯定的回答の割合 ※対象:小5 (実績値)=(県学習状況調査結果)	目標	90%以上				
		実績	92.8%	91.9%			
実績及び成果	1 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 未来を創る能代っ子ふるさと会議と名称を一新し、市内全ての中学校2年生、小学校6年生が参加し、ふるさとをよりよくするための提言がなされた。地域づくりや企業、観光等の観点で議論を深めることができた。						
	2 特色ある教育計画の立案と実践・評価 学校・家庭・地域が相互に連携した教育活動の在り方を検証するため、「あきた型学校評価システム」による学校関係者評価を実施し、市内13校全ての小・中学校でその結果を校報やホームページ等で公表した。						
	○ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした教育活動の推進 ① ニツ井小学校、ニツ井中学校の取組例 模擬会社「きみまちカンパニー」を設立して4年目となる6年度は、企画事業部、産業事業部、観光事業部の3事業部で活動を進めた。11月3日の「きみまちカンパニーフェスティバル」は、きみまち阪公園とニツ井道の駅の2カ所で開催。道の駅ふたつについては、おむすびやニツ井のお店とのコラボ商品の販売、百人一首大会、ニツ井についてのパネル展示等が行われ、きみまち阪公園では観光案内やニツ井音頭の披露等が行われた。これまでの学びの成果を事業部ごとにアピールした。						
	② 能代第一中学校、能代第二中学校の取組例 8月2日、3日、一中若、二中若が天空の不夜城に参加した。両校では、能代七夕の歴史と伝統を学ぶことを目的に、音頭上げや太鼓、笛、田楽等のコースに分かれて活動した。沿道の観客からも、盛んな拍手が送られ、大いに盛り上がった。						
	③ 能代南中学校等の取組例 科学技術の進歩や宇宙開発をテーマに学習を進めている。各学年の計画に沿って、JAXAロケット実験場の見学、モデルロケット製作・打ち上げ等を行っている。中学生モデルロケット県大会では、5位入賞の成績を収めた。 また、市内各校でサイエンスパーク子ども館を見学したり、プラネタリウム鑑賞をしたりして、宇宙に親しんでいる。						

点 検 ・ 評 価	評価	B A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																		
	[説明] ・「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」の肯定的回答の割合（小学5年生）は91.9%で、目標値90%との差は+1.9ポイントであった。 【「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」肯定的回答の割合（県学習状況調査）】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 年</th> <th colspan="2">5年度</th> <th rowspan="2">比較</th> <th colspan="2">6年度</th> <th rowspan="2">比較</th> </tr> <tr> <th>能代市</th> <th>県平均</th> <th>能代市</th> <th>県平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>87.9%</td> <td>92.4%</td> <td>－4.5 p</td> <td>92.8%</td> <td>90.8%</td> <td>＋2.0 p</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>92.8%</td> <td>89.4%</td> <td>＋3.4 p</td> <td>91.9%</td> <td>89.4%</td> <td>＋2.5 p</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>94.1%</td> <td>88.9%</td> <td>＋5.2 p</td> <td>87.7%</td> <td>87.4%</td> <td>＋0.3 p</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>87.4%</td> <td>85.7%</td> <td>＋1.7 p</td> <td>91.8%</td> <td>85.4%</td> <td>＋6.4 p</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>88.4%</td> <td>84.5%</td> <td>＋3.9 p</td> <td>83.9%</td> <td>84.1%</td> <td>－0.2 p</td> </tr> </tbody> </table>							学 年	5年度		比較	6年度		比較	能代市	県平均	能代市	県平均	小学4年	87.9%	92.4%	－4.5 p	92.8%	90.8%	＋2.0 p	小学5年	92.8%	89.4%	＋3.4 p	91.9%	89.4%	＋2.5 p	小学6年	94.1%	88.9%	＋5.2 p	87.7%	87.4%	＋0.3 p	中学1年	87.4%	85.7%	＋1.7 p	91.8%	85.4%	＋6.4 p	中学2年	88.4%	84.5%	＋3.9 p	83.9%	84.1%
学 年	5年度		比較	6年度		比較																																														
	能代市	県平均		能代市	県平均																																															
小学4年	87.9%	92.4%	－4.5 p	92.8%	90.8%	＋2.0 p																																														
小学5年	92.8%	89.4%	＋3.4 p	91.9%	89.4%	＋2.5 p																																														
小学6年	94.1%	88.9%	＋5.2 p	87.7%	87.4%	＋0.3 p																																														
中学1年	87.4%	85.7%	＋1.7 p	91.8%	85.4%	＋6.4 p																																														
中学2年	88.4%	84.5%	＋3.9 p	83.9%	84.1%	－0.2 p																																														
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）																																																			
	[具体的な課題及び取組] 今後も特色ある教育活動が各校で展開されるよう支援していく。																																																			

事業・取組	自己実現を支える生徒指導						2-②	
方針・目標	いじめや不登校等の生徒指導上の諸課題について、未然防止や早期発見、即時対応等を適切に行うよう努めるとともに、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築を目指します。また、たくましく生きるための体を育成します。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	「学校が楽しい」の肯定的回答の割合と学年目標 90%との差の計 ※対象:小4～中2 (実績値)=(((県学習状況調査結果)-(学年目標基準))の計) ※各学年目標基準:90%	目標	0 ポイント以上					
		実績	3.9 p	14.9 p				
	不登校・不登校傾向児童生徒の回復率 (実績値)=(回復した児童生徒数)/(不登校児童生徒数)×100	目標	20%以上					
		実績	19.5%	21.0%				
	新体力テスト体力合計点平均が県平均を上回る学年(男女別)の割合 (実績値)=((県平均を上回る学年(男女別)の数)/(2×9 学年))×100	目標	50%以上					
		実績	55.5%	77.8%				
実績及び成果	1 心の教室相談員の配置 ・小・中学校全ての学校に13名配置 ・1年間に心の教室を訪れた人数(延べ人数) 15,433人、相談件数423件 2 スクールカウンセラーの配置(県委託) ・中学校:6校中6校に3人(兼務あり)配置 ・1年間でスクールカウンセラーを利用した人数(延べ人数) 541人 3 教育支援センター「はまなす広場」の設置(不登校児童生徒への個別指導) ・在籍児童生徒数11人 週に1回～数回の通級等 ・登校に向けて風の子電話との連携を強化 4 「風の子相談」の設置(電話・メールや来所による教育相談) ・年間相談件数 電話20件、来所48件(不登校43件、学習関係2件) 5 不登校保護者会の開催(不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動) ・12回開催、保護者延べ13人参加。生徒の改善(回復傾向)へ関わる。 6 各小・中学校への指導 ・市生徒指導主事会での児童生徒に関する情報交換やいじめ・不登校未然防止の取組の呼びかけ ・Q-Uアンケート(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の実施と分析。小学校5・6年、中学校1・2年で年2回実施。中学校1年はよりきめ細かな分析ができるhyper-QUを実施。 7 関係機関との連携 ・月に1回、教育委員会生徒指導担当、児童生徒支援アドバイザー、子育て支援課家庭教育相談員で情報交換会を開催。児童生徒の抱える課題が、家庭に起因するケースも増えているため、関係機関と連携する解決事案が増えた。							

	8 特別支援教育の充実 ・ 幼保小の架け橋となる幼児通級教室「すてっぷ」（年長児対象）を淳城西小学校、向能代小学校、二ツ井小学校に設置 ・ 小学校低学年の自立を助ける特別支援教室「ステップアップ」を上記3校に設置 ・ 特別支援教育支援員を31人、特別支援教育指導員を10人配置 9 新体力テストの実施と分析を行い、市教委訪問で各校の課題を確認し、助言した。																																																																											
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																																									
	[説明]																																																																											
	・ 「学校が楽しい」の肯定的回答の割合と学年目標90%との差の計は14.9ポイントで、目標値0ポイントとの差は+14.9ポイントであった。県学習状況調査の質問紙において、「学校が楽しい」の項目でほとんどの学年が90パーセントに近い数値であった。中学2年は目標値と同等、その他の学年は全て目標値を上回った。																																																																											
	【「学校が楽しい」 肯定的回答の割合（県学習状況調査／6年度）】																																																																											
	<table><tr><th>学 年</th><th>能代市</th><th>目標値との比較</th><th>県平均</th><th>県との比較</th></tr><tr><td>小学4年</td><td>95.4%</td><td>+5.4 p</td><td>91.2%</td><td>+4.2 p</td></tr><tr><td>小学5年</td><td>92.0%</td><td>+2.0 p</td><td>91.3%</td><td>+0.7 p</td></tr><tr><td>小学6年</td><td>94.5%</td><td>+4.5 p</td><td>92.3%</td><td>+2.2 p</td></tr><tr><td>中学1年</td><td>93.0%</td><td>+3.0 p</td><td>91.6%</td><td>+1.4 p</td></tr><tr><td>中学2年</td><td>90.0%</td><td>±0.0 p</td><td>91.0%</td><td>－1.0 p</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>+14.9 p</td><td></td><td></td></tr></table>					学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較	小学4年	95.4%	+5.4 p	91.2%	+4.2 p	小学5年	92.0%	+2.0 p	91.3%	+0.7 p	小学6年	94.5%	+4.5 p	92.3%	+2.2 p	中学1年	93.0%	+3.0 p	91.6%	+1.4 p	中学2年	90.0%	±0.0 p	91.0%	－1.0 p	計		+14.9 p																																						
学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較																																																																								
小学4年	95.4%	+5.4 p	91.2%	+4.2 p																																																																								
小学5年	92.0%	+2.0 p	91.3%	+0.7 p																																																																								
小学6年	94.5%	+4.5 p	92.3%	+2.2 p																																																																								
中学1年	93.0%	+3.0 p	91.6%	+1.4 p																																																																								
中学2年	90.0%	±0.0 p	91.0%	－1.0 p																																																																								
計		+14.9 p																																																																										
	・ 不登校・不登校傾向児童生徒の回復率は 21.0%で、目標値 20%との差は+1.0ポイントであった。 ・ 新体力テストにおける体力合計点の平均が県平均を上回る学年（男女別）の割合は 77.8%で、目標値 50%との差は+27.8 ポイントであった。 (14÷ (9 学年×2)) ×100) ≒77.8%																																																																											
	【体力合計点平均（新体力テスト／6年度）】																																																																											
	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">小 1</th><th colspan="2">小 2</th><th colspan="2">小 3</th><th colspan="2">小 4</th><th colspan="2">小 5</th><th colspan="2">小 6</th></tr><tr><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th></tr><tr><td>秋田県</td><td>31.69</td><td>30.09</td><td>39.50</td><td>39.34</td><td>44.05</td><td>45.78</td><td>49.97</td><td>51.99</td><td>55.29</td><td>57.18</td><td>61.24</td><td>62.00</td></tr><tr><td>能代市</td><td>33.87</td><td>32.83</td><td>39.73</td><td>40.33</td><td>43.98</td><td>46.10</td><td>50.48</td><td>52.90</td><td>55.89</td><td>59.11</td><td>60.45</td><td>63.07</td></tr><tr><td>比 較</td><td>2.18</td><td>2.73</td><td>0.17</td><td>0.99</td><td>-0.07</td><td>0.32</td><td>0.51</td><td>0.91</td><td>0.6</td><td>1.93</td><td>0.79</td><td>1.07</td></tr></table>													小 1		小 2		小 3		小 4		小 5		小 6		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	31.69	30.09	39.50	39.34	44.05	45.78	49.97	51.99	55.29	57.18	61.24	62.00	能代市	33.87	32.83	39.73	40.33	43.98	46.10	50.48	52.90	55.89	59.11	60.45	63.07	比 較	2.18	2.73	0.17	0.99	-0.07	0.32	0.51	0.91	0.6	1.93	0.79	1.07
	小 1		小 2		小 3		小 4		小 5		小 6																																																																	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																
秋田県	31.69	30.09	39.50	39.34	44.05	45.78	49.97	51.99	55.29	57.18	61.24	62.00																																																																
能代市	33.87	32.83	39.73	40.33	43.98	46.10	50.48	52.90	55.89	59.11	60.45	63.07																																																																
比 較	2.18	2.73	0.17	0.99	-0.07	0.32	0.51	0.91	0.6	1.93	0.79	1.07																																																																
	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">中 1</th><th colspan="2">中 2</th><th colspan="2">中 3</th></tr><tr><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th><th>男子</th><th>女子</th></tr><tr><td>秋田県</td><td>35.78</td><td>44.69</td><td>45.09</td><td>50.57</td><td>50.52</td><td>52.47</td></tr><tr><td>能代市</td><td>34.81</td><td>45.01</td><td>42.64</td><td>51.12</td><td>50.35</td><td>55.51</td></tr><tr><td>比 較</td><td>-0.97</td><td>0.05</td><td>-2.45</td><td>0.55</td><td>-0.17</td><td>3.04</td></tr></table>							中 1		中 2		中 3		男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	35.78	44.69	45.09	50.57	50.52	52.47	能代市	34.81	45.01	42.64	51.12	50.35	55.51	比 較	-0.97	0.05	-2.45	0.55	-0.17	3.04																																				
	中 1		中 2		中 3																																																																							
	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																						
秋田県	35.78	44.69	45.09	50.57	50.52	52.47																																																																						
能代市	34.81	45.01	42.64	51.12	50.35	55.51																																																																						
比 較	-0.97	0.05	-2.45	0.55	-0.17	3.04																																																																						

課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）
	[具体的な課題及び取組] ・「いじめ問題対策連絡協議会」を開催して本市のいじめ問題の現状を把握し学校・家庭・地域その他関係者が連携を図って対応する。また自己有用感を高め、全ての児童生徒の安全・安心な学校生活へ向けて、各校のいじめ防止基本方針の学校・家庭・地域での共有を推進し、「いじめは絶対に許さない。」という学校風土をつくる。 ・不登校・不登校傾向の児童生徒の回復に向けて、各校で校内体制を整え、関係機関とも積極的な連携が図られるようにする。また、新たな不登校児童生徒を出さないように、気になる児童生徒への即時対応、チーム対応を推進する。 ・不登校児童生徒が、学校以外でも学習や体験活動の機会を得られるように支援していく。 ・各校において新体力テストの結果を分析し、体育の授業や外遊びの奨励、部活動等により、高めたい運動特性につながる運動を積極的に取り入れるよう指導する。

事業・取組	1 基本的な学習習慣の確立 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 3 ねらいに即したICTの効果的な活用 4 AIドリルを活用した学びの個別最適化						2-③
方針・目標	児童生徒の基礎学力の確実な定着と向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	1 基本的な学習習慣の確立 教科に関する調査（県学習状況調査）の学年別結果の県平均を上回る教科の割合 (実績値) = ((県平均を上回る教科の数) / (対象学年の教科の総数)) × 100	目標	80%以上				
		実績	100%	85.7%			
	2 子どもが主体的に取り組める学習指導 「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う」の肯定的回答の割合 (実績値) = (県学習状況調査結果)	目標	90%以上				
		実績	91.7%	92.8%			
	3 ねらいに即したICTの効果的な活用 学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用する回数が、週1回以上の割合 (実績値) = (県学習状況調査結果)	目標	90%以上				
		実績	89.5%	79.5%			
	4 AIドリルを活用した学びの個別最適化 長期休業期間にICT端末を持ち帰り、AIドリルを利用した児童生徒数の割合 ※R6～ (実績値) = ((各学年利用率の計) / (学年数))	目標		40%以上	80%以上	100%	
		実績		87%			
	4 AIドリルを活用した学びの個別最適化 児童生徒のAIドリルへの満足度（5段階） ※R6～ (実績値) = (満足度調査(5段階※)換算点の平均値) ※「とても満足」5点～「満足していない」1点	目標		3.0以上	3.5以上	3.8以上	4.0以上
		実績		3.0			

実績及び成果	1 基本的な学習習慣の確立 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、学校訪問等での情報交換及び指導助言等を実施した。 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 ① 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、研究主任会での情報交換及び指導助言等を実施した。 ・個々の児童生徒の補充学習実施の促進を図った。 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の促進を図った。 ・タブレット端末等のＩＣＴを活用した授業を推進した。 ② 研修機会（初任者研修、講師等研修会、外国語活動・外国語学力向上研修会、研究主任会、ＩＣＴ推進リーダー研修会等）の提供と各校の情報共有を行った。 ・能代市山本郡の初任者、講師を対象に、初任者研修、講師等研修会を開催し、「秋田の探究型授業」のポイント等について指導助言した。 ・小・中学校の理科担当者を対象に「理科学力向上研修会」を開催し、理科の学力向上やタブレット端末を活用した授業づくりについて、北教育事務所山本出張所指導主事の講義・演習後、情報交換を行った。 3 ねらいに即したＩＣＴの効果的な活用 ・ＩＣＴ推進リーダー研修会等で各校の実践について情報交換を行った。 ・Ｒ５年度のＩＣＴを活用した事業改善授業の成果を受けて、市内各校でＩＣＴを活用した授業実践が展開された。 4 ＡＩドリルを活用した学びの個別最適化 ・ＡＩドリルの活用の促進のため、市のＩＣＴ推進リーダー研修会では、各校の活用状況を確認するとともに、外部から講師を招いて、活用に関する情報提供を行った。 ・能代市教育委員会学校訪問から見えた各校の授業改善の取組について、ＩＣＴの活用事例を取り上げながら、教育情報誌「ふいご」等を通じて紹介した。 ・秋田の探究型授業や能代市の授業づくりの重点とＩＣＴの効果的な活用について、各研修会で取り上げ、授業改善のきっかけの場とした。 ・ＩＣＴ推進リーダー研修会ではＡＩドリルの活用について各校の実践事例を共有し、個別最適な学びの実現につながるよう、具体的な活用方法について研修を行った。		
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る

[説明]

1 基本的な学習習慣の確立

- ・県学習状況調査の学年別結果の県平均を上回る教科の割合は85.7%で、目標値80%との差は+5.7ポイントであった。
- ・学校がある日の勉強時間（1時間以上勉強している児童生徒の割合）は、小学4年、6年、中学1年、2年で県平均を上回った。

【教科に関する調査（県学習状況調査／6年度）】

小学 4年	能代市	県平均	比較
国語	73.6%	69.9%	+3.7 p
社会			
算数	76.6%	70.9%	+5.7 p
理科	80.1%	73.4%	+6.7 p

小学 5年	能代市	県平均	比較
国語	78.0%	77.0%	+1.0 p
社会	77.3%	74.0%	+3.3 p
算数	69.2%	68.3%	+0.9 p
理科	79.5%	77.4%	+2.1 p

小学 6年	能代市	県平均	比較
国語	83.0%	79.8%	+3.2 p
社会	79.9%	74.1%	+5.8 p
算数	72.6%	67.4%	+5.2 p
理科	78.2%	74.5%	+3.7 p

中学 1年	能代市	県平均	比較
国語	68.2%	64.9%	+3.3 p
社会	71.7%	68.0%	+3.7 p
数学	62.9%	62.7%	+0.2 p
理科	60.7%	61.8%	-1.1 p
英語	69.6%	65.6%	+4.0 p

中学 2年	能代市	県平均	比較
国語	74.9%	75.2%	-0.3 p
社会	62.6%	59.9%	+2.7 p
数学	58.1%	60.1%	-2.0 p
理科	62.4%	61.1%	+1.3 p
英語	58.0%	56.8%	+1.2 p

【家庭学習について、学校がある日の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合（県学習状況調査）】

学 年	5年度		県との 比較	6年度		県との 比較
	能代市	県平均		能代市	県平均	
小学4年	35.7%	32.6%	+3.1 p	33.6%	29.4%	+4.2 p
小学5年	43.4%	48.3%	-4.9 p	40.5%	41.8%	-1.3 p
小学6年	59.8%	51.3%	+8.5 p	56.1%	48.4%	+7.7 p
中学1年	62.9%	60.6%	+2.3 p	59.9%	58.2%	+1.7 p
中学2年	49.1%	57.3%	-8.2 p	56.7%	54.7%	+2.0 p

2 子どもが主体的に取り組める学習指導

- ・「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う」の肯定的回答の割合は92.8%で、目標値90%との差は+2.8ポイントであった。

【「ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う」肯定的回答の割合（県学習状況調査／6年度）】

学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較
小学4年	93.3%	+3.3%	91.7%	+1.6 p
小学5年	92.3%	+2.3%	91.5%	+0.8 p
小学6年	93.8%	+3.8%	90.9%	+2.9 p
中学1年	91.9%	+1.9%	92.1%	+2.0 p
中学2年	92.5%	+2.5%	92.4%	+0.1 p
全体	92.8%			

【「勉強が好きだ」肯定的回答の割合（県学習状況調査）】

学 年	5年度		県との比較	6年度		県との比較
	能代市	県平均		能代市	県平均	
小学4年	77.6%	78.5%	－ 0.9 p	81.1%	75.6%	+5.5 p
小学5年	76.0%	70.6%	+ 5.4 p	79.9%	70.4%	+9.5 p
小学6年	74.8%	67.1%	+ 7.7 p	75.8%	66.0%	+9.8 p
中学1年	54.3%	52.8%	+ 1.5 p	52.9%	49.7%	+3.2 p
中学2年	58.1%	46.7%	+11.4 p	42.5%	44.0%	－1.5 p

3 ねらいに即したＩＣＴの効果的な活用

- ・学校で、コンピュータなどのＩＣＴ機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用する回数が、週１回以上の割合は79.5%で、目標値90%との差は△10.5ポイントであった。
- ・使い方に慣れる段階から、デジタルアナログのそれぞれのよさを踏まえて効果的な活用を模索する段階に移行したことから、授業における使用頻度が下がったことが考えられる。今後は、発達段階に応じてＩＣＴをより効果的に活用するために、学校訪問や研修会等を通じて小学校、中学校での活用方法を共有していく。

【「あなたは、学校で、コンピュータなどのＩＣＴ機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どのくらい使用していますか」の設問に「ほぼ毎日」「週１回以上」と回答した割合（県学習状況調査／6年度）】

学 年	能代市	目標値との比較	県平均	県との比較
小学4年	67.6%	－22.4 p	77.1%	－ 9.5 p
小学5年	67.9%	－22.1 p	74.1%	－ 6.2 p
小学6年	79.3%	－10.7 p	78.9%	+ 0.4 p
中学1年	87.6%	－ 2.4 p	76.3%	+11.3 p
中学2年	94.9%	+ 4.9 p	80.8%	+14.1 p
全体	79.5%			

4 A Iドリルを活用した学びの個別最適化

- ・長期休業期間にＩＣＴ端末を持ち帰り、A Iドリルを利用した児童生徒数の割合は87%で、目標値40%との差は+47ポイントであった。

	【A I ドリルを利用した児童生徒数の割合(長期休業期間に行ったアンケート)】					
	学 年	利用率	学 年	利用率	学 年	利用率
	小学1年	56%	小学4年	85%	中学1年	66%
	小学2年	89%	小学5年	100%	中学2年	75%
	小学3年	100%	小学6年	100%	中学3年	100%
					全体平均	87%
	・児童生徒のA I ドリルへの満足度(5段階)は3.0点で、目標値3.0点との差は±0であった。					
	【A I ドリルの満足に対する5段階回答の換算点(※)】					
	(※) 段階回答換算 最高点「とても満足」5点 最低点「満足していない」1点					
	学 年	評価平均	学 年	評価平均	学 年	評価平均
小学1年	2.0	小学4年	2.6	中学1年	2.6	
小学2年	2.3	小学5年	2.9	中学2年	3.1	
小学3年	2.9	小学6年	3.0	中学3年	3.2	
				全体平均	3.0	
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他()					
	[具体的な課題及び取組] ・A I ドリルの活用を含む基本的な学習習慣の確立については、小・中連携による継続的、系統的な学び方指導、家庭への啓発等を引き続き各学校に指導する。 ・新学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善を目指し、各種研修会や広報等で広く周知する。					

事業・取組	1 学力向上のための研修 2 安全・安心な学校づくりのための研修 3 学びをより豊かにするための研修						2－④	
方針・目標	学校や教職員の課題に応じた研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させます。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	各研修会参加者の満足度 (実績値)=(利用者満足度調査(4段階※)換算点の平均値)	目標	3.6 以上					
	※実際に役立つ内容であったか「そう思う」4点～「思わない」1点	実績	3.8	3.9				
実績及び成果	① 職務別研修を実施した。 ・教務主任・研究主任協議会（4月） カリキュラム・マネジメントの推進についての講話・協議、情報交換 ・特別支援教育学級担任等研修会（6月） 能代市教育委員会特別支援教育統括コーディネーターの講話「個別の配慮を要する子どもの理解と対応」、情報交換 ② 教職経験者研修を実施した。 ・初任者研修（5・8月） 1回目：教育懇談（教育長講話、課長・指導主事による講義等） 2回目：郷土研修（能代市の産業、自然、文化、施設） ・講師等研修（6月） ③ テーマ別研修を実施した。 ・読書活動推進研修会（5月） ・幼保小連携推進協議会（5月、11月、2月） ・理科学力向上研修会（7月） ・外国語研修会（8月） ④ 東京都豊島区との教育連携によるオンラインでの教員、児童生徒交流を実施した。 ・淳城西小と椎名町小、淳城南小と朋有小、第四小と千早小、第五小とさくら小、向能代小と目白小、浅内小と清和小、二ツ井小と豊成小 ・能代第二中と巣鴨北中、能代東中と駒込中、能代南中と西巣鴨中、二ツ井中と明豊中 ・東京都豊島区との教育連携を生かした教員交流研修（10月） ・各種研修会では、参加者同士が対話しながら主体的に参加できるよう、研修内容を工夫することができた。 ・新学習指導要領や能代市の教育方針及び学校の課題等について、各校の日常の取組に生かすことができるよう、専門的な分野に秀でた指導主事やアドバイザー等を講師として招聘した。 ・アンケート等を基にしながら、参加者のニーズを踏まえた研修会の計画に努め、研修会の冒頭で、会のねらい等を押さえた上で研修会を開催し、研修内容の充実を図った。							

点 検 ・ 評 価	評価	A		A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり																																												
				C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る																																												
	[説明] ・各種研修会参加者の満足度は 3.9 点で、目標値 3.6 点との差は+0.3 点であった。 【各種研修会の事後アンケートでの「実際に役立つ内容であったか」の設問に対する 4 段階回答の換算点 (※)】 (※) 段階回答換算 最高点「そう思う」4 点 最低点「思わない」1 点 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教員に直接関わる各種研修</th> <th>5 年度 評価平均</th> <th>6 年度 評価平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>教務主任・研究主任協議会</td> <td>3.7</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>特別支援教育学級担任等研修会</td> <td>3.9</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>初任者研修</td> <td>3.9</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>講師等研修</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>読書活動推進研修会</td> <td>3.7</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>幼保小連携推進協議会</td> <td>3.8</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>外国語活動・外国語研修会</td> <td>3.9</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>理科学力向上研修会</td> <td>3.8</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>I C T推進リーダー研修会</td> <td>3.8</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全体平均</td> <td>3.8</td> <td>3.9</td> </tr> </tbody> </table>						教員に直接関わる各種研修	5 年度 評価平均	6 年度 評価平均	1	教務主任・研究主任協議会	3.7	3.8	2	特別支援教育学級担任等研修会	3.9	4.0	3	初任者研修	3.9	4.0	4	講師等研修	4.0	4.0	5	読書活動推進研修会	3.7	3.9	6	幼保小連携推進協議会	3.8	3.9	7	外国語活動・外国語研修会	3.9	4.0	8	理科学力向上研修会	3.8	3.8	9	I C T推進リーダー研修会	3.8	3.6		全体平均	3.8	3.9
	教員に直接関わる各種研修	5 年度 評価平均	6 年度 評価平均																																														
1	教務主任・研究主任協議会	3.7	3.8																																														
2	特別支援教育学級担任等研修会	3.9	4.0																																														
3	初任者研修	3.9	4.0																																														
4	講師等研修	4.0	4.0																																														
5	読書活動推進研修会	3.7	3.9																																														
6	幼保小連携推進協議会	3.8	3.9																																														
7	外国語活動・外国語研修会	3.9	4.0																																														
8	理科学力向上研修会	3.8	3.8																																														
9	I C T推進リーダー研修会	3.8	3.6																																														
	全体平均	3.8	3.9																																														
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 () [具体的な課題及び取組] ① ミドルリーダーを育成する研修の充実を図る。 ・豊島区との教育交流事業の充実によるミドルリーダーの実践的指導力の向上へ向け、5 年度の全小学校及び中学校 1 校による豊島区の学校とのフレンドスクール交流を、7 年度も全小学校及び・中学校 5 校で継続する。また、教員同士が互いに訪問して研修を深める交流を継続する。 ・教務主任・研究主任協議会の充実 7 年度は、文科委託事業「カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究」実践校の実践によってまとめられた「カリキュラム・マネジメントの手引き」の活用を推進しながら、ミドルリーダーの学校経営への参画意識と力量の向上を図る。 ② 教科等の実践的指導力向上に関する研修の充実を図る。 ・研究授業後の研究会のコーディネートや指導助言等により、各校の組織的な研修会の充実を図る。 ・タブレットをはじめとした I C T 機器を効果的に活用した授業づくりの充実を図る。 ・教科の授業力向上研修会や外国語研修会等において、「I C T の効果的活用」「秋田の探究型授業の在り方」「指導方法の工夫」等について協議、情報交換を行い、研修会参加者が自校において研修内容を還元し、授業改善が市内全小・中学校において一層推進されるようにする。 ③ 生徒指導の機能を指導に生かすための研修の充実を図る。																																																

	・各校の現状と課題を分析し、学校全体の指導力向上を図るため、市教育委員会指導主事と児童生徒支援アドバイザーによる全小・中学校訪問を実施する。 ・各小・中学校に配置している心の教室相談員を対象とした研修会を実施する。 ④ 特別支援教育の充実を図る。 ・特別支援教育学級担任等研修会の開催等、学校のニーズに応じ、教育力を高めるための研修会を実施する。 ・特別教育支援指導員・支援員を対象に、支援等の在り方や工夫に関する情報共有の場を設定する。 ⑤ 幼保小連携を推進する。 ・学校及び幼保園・所が互いに子どもの育ちを理解し合い、互いの連携を深めるため、年3回（小学校1年生担任や年長児担任、管理職対象）の連携推進協議会を開催する。 ・年間の交流計画を作成し、育てたい資質・能力を共有しながら積極的な交流活動を行う。また、幼保小の架け橋期である就学前の5歳児からと小学校1年生の2年間におけるカリキュラムの開発を進める。 ・能代市初任研Ⅰに、幼稚園・保育園・認定こども園の1～3年目の保育教諭及び保育士が参加する。 今後も各学校において能代市が目指す教育の方向性への理解が深まり、教員一人一人の力量向上が図られるよう、各学校における教育課題等の実情に応じた実践的な研修を企画、実施していく。また、研修内容を教育情報誌「ふいご」や教育研究所報「つなぐ」で周知し、教職員の資質・能力の向上を図る。
--	---

事業・取組	学校安全の推進						2-⑤	
方針・目標	児童生徒が安全・安心で楽しい学校生活を送るため、学校安全に関する指導を推進するとともに、学校施設の適切な維持管理や必要な支援員の配置、就学援助等の教育環境を整えます。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	各校からの点検・改善要望箇所の対策実施率	目標	90%以上					
	(実績値)＝((対策済件数)/(点検・改善要望数))×100	実績	93.8%	88.9%				
実績及び成果	学校安全の推進							
	① 教育活動における安全指導							
	・学校訪問等で学校安全に関する指導助言を行った。							
	・市生徒指導協議会で各校の生徒指導主事に事故発生状況を伝えるとともに、安全に関する指導助言を行った。							
	・事故発生後の各校からの速やかな報告、迅速な対応が徹底されてきている。							
		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
	登下校時の事故	9件	9件					
	校内における事故	25件	33件					
	② 各学校の実態に応じた安全点検等の実施							
	・関係機関と連携し、通学路の安全点検を合同で実施し、専門家の視点から児童の安全面を考慮した改善を進めることができた。毎年、点検・改善が進められていることから、登下校における危険個所が減少し、児童生徒の不注意以外が原因となる事故は減少している。							
点検・評価	③ 地域連携安全・安心推進事業							
	・令和5年度の地域連携安全・安心推進事業の拠点校である浅内小学校と能代南中学校での取組を基に、市内各校で地域や関係機関と連携した避難訓練を実施している。避難所開設訓練や避難者の誘導、児童の引き渡し訓練等、より実践的な内容を取り入れた訓練を行っている。							
	④ 学校給食における食の安全の取組							
	・食育デー（毎月19日）に地場産物を多く使用した献立を提供した。							
	・食物アレルギーの児童生徒を把握し、代替給食を提供した。（66人）							
	・危険な異物等が給食に入り込まないように、衛生管理面の徹底に努めた。							
	学校給食における危険な異物等の混入：0件							
	食物アレルギーによるアナフィラキシーの発生件数：0件							
	⑤ 心のケアの充実							
	・【再掲】特別支援教育支援員を31人、特別支援教育指導員を10人配置							
・心の教室相談員を小学校全校（7校）、中学校全校（6校）、計13校に配置								
点検・評価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る					
	[説明] ・各校からの点検・改善要望箇所の対策実施率は88.9%で、目標値90%との差は△1.1ポイントであった。							

	【通学路安全点検】		
		5 年度	6 年度
	点検・改善要望箇所	16 件	9 件
	対策済み	15 件	8 件
	対策検討	1 件	1 件
	対策実施率	93.8%	88.9%
	※ 5 年度の対策検討 1 件は、6 年度 4 月に対策済み		
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）		
	[具体的な課題及び取組] ・ 学校、地域、保護者、関係機関との連携を密にし、多くの目で児童生徒を見守る体制づくりを推進し、事故防止に努めていく。 ・ 令和 5 年度に地域連携安全・安心推進事業の拠点校であった浅内小学校と能代南中学校の実践を中心に、各校が保護者や地域、関係機関と連携した防災教育を行い、児童生徒の防災意識を高めるよう、働き掛けをする。また、災害や不審者対応等、様々な場面を設定して、小・中学校 9 年間を見据えた学校安全教育の推進が図られるよう支援する。		

事業・取組	就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進						2-⑤													
方針・目標	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者等に対する支援を一層充実させ、子どもたちが安全・安心に過ごせる良好な教育環境をつくります。																			
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9													
	制度周知実施の対象範囲 (実績値)=(評価基準と実施した周知対象範囲との比較)	目標値	評価基準以上																	
	※(評価基準)=(R4 年度に実施した周知対象範囲)	実績	維持	維持																
実績及び成果	広報のしろや市ホームページで周知している他、奨学金にあっては市内の中学校や県内の高等学校、大学、短期大学等に周知依頼をし、就学援助にあっては市内小・中学校に周知依頼することで周知徹底を図っており、見込み程度の利用人数となっている。 1 就学援助 庁内の関係窓口に案内文書や申請書を備え付けている他、新入学児童生徒には保護者へ案内文書の直接送付、在校児童生徒には学校を通して制度案内と申請書を配布している。結果、認定割合は 25%前後と県内でも高い水準となっている。 (7 年 3 月末現在) 要保護 34 人、準要保護 559 人、認定割合は 24.0% (5 年度 24.1%) 県内でも高い水準となっている。 2 能代市奨学金貸付事業 奨学生募集の際は、市内中・高等学校、県内専門学校・大学、庁内関係課の他、山本郡の 3 町に周知している。8 月から募集を開始し、定員に満たない分について随時追加募集を行ったことから、AO 入学等様々な時期に対応でき、採用者が定員を満たした。 定員：高校 5 人、大学等 20 人 採用者数 (辞退者数除く) <table><tr><td></td><td>5 年度</td><td>6 年度</td></tr><tr><td>高校</td><td>3 人</td><td>1 人</td></tr><tr><td>大学等</td><td>21 人</td><td>22 人</td></tr><tr><td>計</td><td>24 人</td><td>23 人</td></tr></table> 3 ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業 定員に満たない分について随時追加募集を行い応募の機会を増やしたが、3 町の採用者数が定員を満たさなかった。 定員：大学等 30 人 (能代市 19 人、三種町 6 人、八峰町 3 人、藤里町 2 人)									5 年度	6 年度	高校	3 人	1 人	大学等	21 人	22 人	計	24 人	23 人
	5 年度	6 年度																		
高校	3 人	1 人																		
大学等	21 人	22 人																		
計	24 人	23 人																		

	採用者数（辞退者数除く）		
		5 年度	6 年度
	能代市	20 人	19 人
	その他	1 人	4 人
	計	21 人	23 人
	4 奨学金返還助成事業 県の返還助成を終了した方に対し、制度概要のチラシを送付するなど、関係機関と連携し周知を図っており、助成者数は例年並に推移している。 助成者数：6 年度 46 人（5 年度 47 人）		
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・制度周知実施の対象範囲は、4 年度に実施した周知対象範囲を維持した。		
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）		
	[具体的な課題及び取組] 一定程度の利用申し込みがある状況であり、さらなる周知方法の拡大等について検討しながら今後も継続して周知徹底に努める。奨学金貸付事業については、奨学金返還助成制度と合わせて周知をし、利用促進を図る。		

事業・取組	学校施設の老朽化対策等の推進							2－⑤																																																																																																																																								
方針・目標	児童生徒が安全・安心で楽しい学校生活を送るため、学校施設の適切な維持管理を実施します。																																																																																																																																															
目標指標	指標				R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																																																							
	大規模改修工事完了校数(累計) ※「教育施設等長寿命化計画」 R20 年度までに 13 校 (実績値)=(大規模改修工事を完了した学校数の累計) 〔指数〕			目標	4.25	5.75	6	7	7.25																																																																																																																																							
				実績値	4.25	5.75																																																																																																																																										
	校舎		体育館	計		4.25	5.75																																																																																																																																									
	I 期	II 期																																																																																																																																														
	0.25	0.25	0.50	1.0																																																																																																																																												
実績及び成果	1 学校施設の老朽化対策等の推進 ① 長寿命化計画に基づく事業実施 ・国交付金の追加配分に要望し、前倒しで予算措置した。 ○第五小学校大規模改修工事Ⅱ期(体育館含む)※Ⅰ期：令和5年度実施 照明器具のLED化、外壁・屋根の改修、床張替、研磨塗装ほか ○能代第二中学校(校舎)大規模改修工事Ⅰ期 照明器具のLED化、外壁・屋根の改修、エアコン設置ほか ○能代東中学校(体育館)大規模改修工事 外壁・屋根の改修、付属室のLED化、内部改修ほか <大規模改修工事> <table><tr><td></td><td>R5</td><td colspan="2">R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>計</td><td>R10～</td></tr><tr><td>淳城西小</td><td>校舎Ⅱ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>第五小</td><td>校舎Ⅰ</td><td>校舎Ⅱ 体育館</td><td>0.75</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>第四小</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>浅内小</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>二ツ井小</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.0</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>二ツ井中</td><td>校舎Ⅱ 体育館</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>能代二中</td><td></td><td>校舎Ⅰ</td><td>0.25</td><td>校舎Ⅱ</td><td>体育館</td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>能代東中</td><td></td><td>体育館</td><td>0.5</td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>東雲中</td><td></td><td></td><td></td><td>トイレ</td><td></td><td></td><td>0.0</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>能代一中</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>体育館</td><td>0.5</td><td>校舎Ⅰ</td></tr><tr><td>能代南中</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>校舎Ⅰ</td><td>0.25</td><td>校舎Ⅱ 体育館</td></tr><tr><td>向能代小</td><td>実施済</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>淳城南小</td><td>実施済</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>(累)計</td><td>4.25</td><td></td><td>5.75</td><td>6.0</td><td>6.5</td><td>7.25</td><td>7.25</td><td></td></tr></table> ※向能代小は元、2年度、淳城南小は2、3年度に実施済み										R5	R6		R7	R8	R9	計	R10～	淳城西小	校舎Ⅱ						1.0		第五小	校舎Ⅰ	校舎Ⅱ 体育館	0.75				1.0		第四小							0.0	校舎Ⅰ	浅内小							0.0	校舎Ⅰ	二ツ井小							0.0	校舎Ⅰ	二ツ井中	校舎Ⅱ 体育館						1.0		能代二中		校舎Ⅰ	0.25	校舎Ⅱ	体育館		1.0		能代東中		体育館	0.5				0.5	校舎Ⅰ	東雲中				トイレ			0.0	校舎Ⅰ	能代一中						体育館	0.5	校舎Ⅰ	能代南中						校舎Ⅰ	0.25	校舎Ⅱ 体育館	向能代小	実施済						1.0		淳城南小	実施済						1.0		(累)計	4.25		5.75	6.0	6.5	7.25	7.25	
	R5	R6		R7	R8	R9	計	R10～																																																																																																																																								
淳城西小	校舎Ⅱ						1.0																																																																																																																																									
第五小	校舎Ⅰ	校舎Ⅱ 体育館	0.75				1.0																																																																																																																																									
第四小							0.0	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
浅内小							0.0	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
二ツ井小							0.0	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
二ツ井中	校舎Ⅱ 体育館						1.0																																																																																																																																									
能代二中		校舎Ⅰ	0.25	校舎Ⅱ	体育館		1.0																																																																																																																																									
能代東中		体育館	0.5				0.5	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
東雲中				トイレ			0.0	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
能代一中						体育館	0.5	校舎Ⅰ																																																																																																																																								
能代南中						校舎Ⅰ	0.25	校舎Ⅱ 体育館																																																																																																																																								
向能代小	実施済						1.0																																																																																																																																									
淳城南小	実施済						1.0																																																																																																																																									
(累)計	4.25		5.75	6.0	6.5	7.25	7.25																																																																																																																																									

	② 常時の調査・点検等 法定・任意点検、職員による随時巡回等により状況を把握し、優先度を考慮し対応した。		
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・大規模改修工事完了校数（累計）は 5.75 で、目標値 5.75 との差は±0 であった。		
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）		
	[具体的な課題及び取組] ・大規模改修等に充てる財源の確保 能代市教育施設等長寿命化計画に基づき整備計画を国へ示し、引き続き交付金の獲得と有利な起債の活用に努める。また、交付金の追加配分等の機会があれば積極的に要望していく。 ・能代市教育施設等長寿命化計画（個別施設計画）の見直し 平成 29 年度策定の能代市公共施設等総合管理計画の改訂作業が令和 8 年度に予定されていることから、本計画の見直しについても整合性を図りながら検討を進める。		

基本目標

3 より心豊かで生き活きた暮らしにつながる学びの場づくりの推進

だれもが豊かな人生を送ることができるよう、学んだことを地域活動に活かすとともに、支え合う中でつながりを深めていきます。

【施策の方向性】

① 生涯にわたる多様な学びの機会の提供

多様な学習ニーズやライフステージに応じた学びの充実を図り、だれでも参加できる講座の開催や情報発信に努めます。

② 学びと活動をつなげる環境づくり

学びによる仲間づくりを支援するほか、学びの成果を地域活動に活かす場や機会や、だれでも気軽に集い、交流できる場の提供に努めます。

③ 若者の主体的な活動や地域活動への参画促進

若者の仲間づくりや自主的な活動を支援するほか、地域づくりやボランティア活動をはじめとして、社会への実践的な参画を奨励、促進します。

大橋 純一 氏

だれもが生涯を通じて学びに親しみ、その学びから多様な地域活動へとつなげる実践が数多く展開されました。出前講座は開催数こそ目標に届かなかったものの、多岐にわたるテーマで2,800人が受講し、市民の暮らしに密着した学びの場として確かな役割を果たしています。また、図書館活動では関連機関との連携による本の提供や展示を通じ、世代・関心を問わず幅広い層に向けた情報発信がなされ、利用者満足度も高い水準を維持しています。

公民館活動では、講座数・参加者数ともに増加傾向にあり、とりわけ寿大学など高齢者教育が盛況であった点が印象的です。また、幼児・児童・障がいのある方々を対象とした講座も多く、年齢や背景を問わず多様な人々が学び合える場が形成されています。創作活動や文化月間も、市民の創造性を刺激する大切な機会となっており、文化的活動を通じた地域づくりの一端を担っていることが感じられます。

自主学習グループの登録も増加傾向にあり、継続的な学びの定着が見られるのは喜ばしいことです。情報発信の手段が多様化していることも、参加率の向上に寄与していると考えられるかもしれません。

若者の参画に関しては、ボランティア育成講座への参加者が増加し、主体的な活動への意欲の高まりが数字に表れています。勤労青少年ホームの登録も再び動き出し、今後の展開が期待されます。

全体として、学びを生活や地域活動に結びつける仕掛けが随所に見られ、市民一人ひとりの生きがいに貢献している点を高く評価します。今後も、地域に根差した学びの循環が持続・発展していくことを願います。

佐藤 俊之 氏

本目標は、現代の地域社会に求められている生涯学習の理念を的確に捉えていると思います。特に、次の観点から評価できます。①学びを「暮らし」や「地域」と結びつけていること、②「だれもが」「支え合う」という包括的な視点であること、③「地域共生社会の実現」に応えようとしていることです。

具体的な事業・取組を見てみると、出前講座については、開催回数が減少し、また、一部講座における参加者数が伸び悩んだのかもしれません。しかし、参加者からの満足度はどうだったのでしょうか。多様な分野での学びの機会を提供できたことは一定の評価ができますので、より柔軟な講座運営体制の構築や、ニーズに即した内容の継続的な見直し、広報の工夫などが必要ではないかと思います。図書館管理運営事業、公民館活動事業、勤労青少年ホーム活動事業、働く婦人の家活動事業、市民文化振興事業は、目標を上回る評価となっており、教育委員会ははじめ関係者の努力の成果が出ているのだと思います。

目標及び施策の方向性は、生涯学習が単なる教養講座ではなく、地域社会を豊かにする重要なものであるという考え方の下でつくられており、その事業・取組は有効に進められていると評価できます。今後は、これまでどおり具体的な成果事例の可視化や、地域住民の声を反映した講座企画などによって、この理念がより実効的に推進されることが期待されます。

事業・取組	生涯学習推進事業						3-①	
方針・目標	多様な学習ニーズやライフステージに応じた学びの充実を図り、だれでも参加できる講座の開催や情報発信に努めます。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	出前講座の開催数 (実績値)=(実数)	目標	153 回以上					
	[目標設定基準:R4 実績値]	実績	174 回	131 回				
実績及び成果	1 出前講座（市職員が講師となり、市の事業や各種制度を説明） 「野菜の栽培管理のコツ」「特殊詐欺・悪質商法とその対応策」「フレイルに関すること」等 131 回開催（受講者数 2,800 人）							
	2 生涯学習ボランティア（登録ボランティアが講師（登録数 43）） 「星空観察会」「風の松原散策」「太極拳」等 7 回開催（受講者数 104 人）							
	(参 考)							
	区 分		5 年度		6 年度			
			開催数	受講者数	開催数	受講者数		
	出前講座		174 回	4,064 人	131 回	2,800 人		
	生涯学習ボランティア		5 回	83 人	7 回	104 人		
	合 計		179 回	4,147 人	138 回	2,904 人		
	3 生涯学習奨励員（25 人委嘱） 学習会、研修会等への参加、学習相談への対応等							
	点検・評価	評価	C	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る				
[説明] 出前講座の開催数は 131 回で、目標値 153 回との差は△22 回であった。								
課題及び 今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他（ ）							
	[具体的な課題及び取組] ・生涯学習奨励員による学習の成果等を、これまで以上に地域へ還元する仕組みづくりが重要である。 ・今後も引き続き、生涯にわたる学びの実践のみならず、学びから得た繋がりがより大きな地域の“わ”へ繋がるよう努める。 ・周知方法の工夫など、開催数の増加に繋がる取組も必要である。							

事業・取組	図書館管理運営事業					3-①	
方針・目標	多様な学習ニーズやライフステージに応じた学びの充実を図り、だれでも参加できる講座の開催や情報発信に努めます。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	図書館利用者の満足度 (実績値)=(利用者満足度調査(5段階※)換算点の平均値) ※「満足」5点～「不満」1点	目標	4以上				
		実績	4.37	4.33			
実績及び成果	・おはなし会や講座等を積極的に開催し、参加者の増加につながっている。 ・広報・北羽新報・図書館だより等により新刊やお薦め本を紹介するとともに、各館ともに工夫を凝らしたテーマ展示を行い、読書活動の推進を図っている。						
	図書館運営方針に基づき、各種事業等を展開した。						
	1 来館者数、貸出冊数 ※統計は全て2館(能代・二ツ井)合計						
	年度/項目	来館者数	貸出冊数				
			個人貸出	団体貸出	合計冊数		
	6年度	104,954人	138,539冊	10,525冊	149,064冊		
	5年度	100,954人	137,972冊	10,957冊	148,929冊		
	2 図書館資料の充実(蔵書冊数)						
	年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計冊数		
	6年度	139,052冊	20,096冊	43,566冊	202,714冊		
5年度	138,803冊	19,780冊	43,279冊	201,862冊			
3 主な図書館サービス							
項目/年度	5年度		6年度				
予約冊数	5,737冊		6,485冊				
他館との相互貸借(借受)	678冊		706冊				
レファレンス(資料調査・案内等)	9,612件		9,636件				
インターネット端末利用者数	2,029人		2,161人				
コピーサービス	2,838枚		2,973枚				
配本サービス等	178回/8,268冊		177回/7,523冊				
4 読書活動の推進と学習機会の提供							
項目/年度	5年度		6年度				
おはなし会	42回/582人		40回/455人				
図書館講座	13回/287人		15回/359人				
こども向けイベント	10回/210人		11回/262人				
選書体験(小・中学校)	4回/ 51人		3回/ 41人				
5 市・学校・社会教育施設等との連携							
ア 「子育て・家庭教育に関する本」のセット貸出 保育所向け・小学校向け・中学校向け(生涯学習・スポーツ振興課)							
イ 男女共同参画関連図書の展示、貸出 (6月、11月/市民活力推進課)							
ウ 学校・施設等への配本 (22ヵ所)							

	エ 読み聞かせおすすめ絵本の紹介会 (年 3 回／健康づくり課) オ 職場体験・インターンシップ・社会科見学等の受入れ 6 指定管理者との連携 ア ニツ井館・能代館での資料搬送 (週 2 回 ※予約資料は週 3 回) イ 月例打合せ (毎月 1 回) ウ 特別貸出【ニツ井図書館で実施】 (能代図書館の図書借り入れ) 一般図書 約 1,000 冊 × 2 回 (7・1 月) 児童図書 約 200 冊 × 3 回 (6・11・3 月)													
点 検 ・ 評 価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る											
	[説明] ・図書館利用者満足度の平均値は 4.33 点で、目標値 4 点との差は+0.33 点であった。 【図書館利用者満足度調査結果 (全体的な満足度平均)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>能代図書館</th><th>ニツ井図書館</th><th>(能・二) 平均</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6 年度</td><td>4.39</td><td>4.26</td><td>4.33</td></tr> <tr> <td>5 年度</td><td>4.32</td><td>4.41</td><td>4.37</td></tr> </tbody> </table> 5 段階評価…「満足」5 点、「やや満足」4 点、「普通」3 点、「やや不満」2 点、「不満」1 点			年度	能代図書館	ニツ井図書館	(能・二) 平均	6 年度	4.39	4.26	4.33	5 年度	4.32	4.41
年度	能代図書館	ニツ井図書館	(能・二) 平均											
6 年度	4.39	4.26	4.33											
5 年度	4.32	4.41	4.37											
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 () [具体的な課題及び取組] ・市民の学習要求に応えられるよう図書資料の充実に努め、読書活動を推進する。 ・図書館利用者満足度調査や講座後のアンケート等により、利用者のニーズを把握し、親しまれる図書館運営を推進する。 ・学校や他の公共図書館、図書館ボランティア等との連携を図り、多様な学習機会の提供やサービスの充実に努める。													

事業・取組	公民館活動事業、勤労青少年ホーム活動事業、働く婦人の家活動事業、市民文化振興事業						3－②																																																																																					
方針・目標	学びによる仲間づくりを支援するほか、学びの成果を地域活動に活かす場や機会や、だれでも気軽に集い、交流できる場の提供に努めます。																																																																																											
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																																																																																					
	中央公民館・地区公民館等開設講座数	目標	140 以上																																																																																									
	(実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	実績	150	165																																																																																								
	自主学习グループ等登録団体数	目標	259 以上																																																																																									
	(実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	実績	257	264																																																																																								
実績及び成果	1 中央公民館・地区公民館等開設講座・回数 <table><tr><td>項目／年度</td><td>5 年度</td><td>6 年度</td></tr><tr><td>講座数</td><td>150講座</td><td>165講座</td></tr><tr><td>回数（日数）</td><td>188回</td><td>201回</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>6,576人</td><td>7,352人</td></tr><tr><td>対人口比(各年3.31現在)</td><td>13.7%</td><td>15.7%</td></tr></table> 2 中央公民館・地区公民館等開催事業内訳（数値は延べ数） <table><tr><td>分野</td><td>主な事業内容</td><td>対象</td><td>回数 または日数</td><td>参加者数</td></tr><tr><td>家庭教育 (幼児教育)</td><td>親子体験活動</td><td>年中・年長児・小学生と保護者</td><td>13回</td><td>240人</td></tr><tr><td rowspan="3">青少年教育</td><td>体験活動</td><td>地区小学生</td><td>21回</td><td>395人</td></tr><tr><td>ボランティア育成</td><td>中・高校生</td><td>12回</td><td>141人</td></tr><tr><td>障がい者の生涯学習支援</td><td>支援学校生ほか</td><td>11回</td><td>115人</td></tr><tr><td rowspan="4">成人教育</td><td>集合学習（市民学校）</td><td>一般成人</td><td>64回</td><td>816人</td></tr><tr><td>集合学習（その他講座等）</td><td>一般成人</td><td>12回</td><td>162人</td></tr><tr><td>働く婦人の家講座</td><td>一般成人</td><td>10回</td><td>104人</td></tr><tr><td>勤労青少年ホーム講座</td><td>一般成人</td><td>1回</td><td>5人</td></tr><tr><td>高齢者教育</td><td>集合学習（寿大学）</td><td>高齢者</td><td>34回</td><td>1,610人</td></tr><tr><td rowspan="2">文化活動</td><td>公民館祭・文化祭</td><td>市民等</td><td>14日間</td><td>3,304人</td></tr><tr><td>ロビー展（二ツ井公民館）</td><td>市民等</td><td>4回</td><td>400人</td></tr><tr><td>コミュニティ活動</td><td>地域づくり講演会</td><td>一般成人</td><td>1回</td><td>5人</td></tr><tr><td>創作活動</td><td>創作作品活動（創作か たコンテスト作品応募・展 示）</td><td>市民等</td><td>4日間 ※展示期間</td><td>55人 ※作品数</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>201回</td><td>7,352人</td></tr></table> 3 事業周知方法 ○中央公民館ほか（指定管理）…広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ・フェイスブック・X（旧Twitter） ○二ツ井公民館（指定管理）…広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ・インスタグラム								項目／年度	5 年度	6 年度	講座数	150講座	165講座	回数（日数）	188回	201回	参加者数	6,576人	7,352人	対人口比(各年3.31現在)	13.7%	15.7%	分野	主な事業内容	対象	回数 または日数	参加者数	家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年中・年長児・小学生と保護者	13回	240人	青少年教育	体験活動	地区小学生	21回	395人	ボランティア育成	中・高校生	12回	141人	障がい者の生涯学習支援	支援学校生ほか	11回	115人	成人教育	集合学習（市民学校）	一般成人	64回	816人	集合学習（その他講座等）	一般成人	12回	162人	働く婦人の家講座	一般成人	10回	104人	勤労青少年ホーム講座	一般成人	1回	5人	高齢者教育	集合学習（寿大学）	高齢者	34回	1,610人	文化活動	公民館祭・文化祭	市民等	14日間	3,304人	ロビー展（二ツ井公民館）	市民等	4回	400人	コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1回	5人	創作活動	創作作品活動（創作か たコンテスト作品応募・展 示）	市民等	4日間 ※展示期間	55人 ※作品数	合 計			201回	7,352人
項目／年度	5 年度	6 年度																																																																																										
講座数	150講座	165講座																																																																																										
回数（日数）	188回	201回																																																																																										
参加者数	6,576人	7,352人																																																																																										
対人口比(各年3.31現在)	13.7%	15.7%																																																																																										
分野	主な事業内容	対象	回数 または日数	参加者数																																																																																								
家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年中・年長児・小学生と保護者	13回	240人																																																																																								
青少年教育	体験活動	地区小学生	21回	395人																																																																																								
	ボランティア育成	中・高校生	12回	141人																																																																																								
	障がい者の生涯学習支援	支援学校生ほか	11回	115人																																																																																								
成人教育	集合学習（市民学校）	一般成人	64回	816人																																																																																								
	集合学習（その他講座等）	一般成人	12回	162人																																																																																								
	働く婦人の家講座	一般成人	10回	104人																																																																																								
	勤労青少年ホーム講座	一般成人	1回	5人																																																																																								
高齢者教育	集合学習（寿大学）	高齢者	34回	1,610人																																																																																								
文化活動	公民館祭・文化祭	市民等	14日間	3,304人																																																																																								
	ロビー展（二ツ井公民館）	市民等	4回	400人																																																																																								
コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	1回	5人																																																																																								
創作活動	創作作品活動（創作か たコンテスト作品応募・展 示）	市民等	4日間 ※展示期間	55人 ※作品数																																																																																								
合 計			201回	7,352人																																																																																								

	○地区公民館 … (地域住民) チラシ (地域以外) 広報		
	4 文化月間の設定		
	5 年度 (10/15～11/20)		6 年度 (10/15～11/20)
	展示部門	7 団体 入場者数 6,805 人	7 団体 入場者数 5,647 人
	舞台部門	17 団体 入場者数 691 人	18 団体 入場者数 641 人
	5 自主学習グループ等登録団体数		
	※自主学習グループ+働く婦人の家利用グループ		
		5 年度	6 年度
	団体数	257団体	264団体
	人数	3,129人	3,315人
	対人口比(各年3.31現在)	6.5%	7.1%
点 検 ・ 評 価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・中央公民館・地区公民館等開設講座数は165講座で、目標値140講座との差は+25講座であった。回数は201回で、5年度より13回上回り、参加者数も対人口比で1.9ポイント上回った。 ・自主学習グループ等登録団体数は264団体で、目標値259団体との差は+5団体であった。		
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 ()		
	[具体的な課題及び取組] ・参加者アンケートでは、満足度を数値化できるような設問を設定し、更なるニーズの把握に努める。 ・講座へ参加しやすい時間帯の設定や、他行事と重ならないような日程調整を引き続き行っていく。 ・「ボランティア育成講座」では、対象を中学生までとし、広く参加者を募る。 ・引き続き指定管理者との月例打ち合わせを行い、これまで同様、情報交換を密にする。 ・中央公民館・地区公民館の事業担当者間の情報交換の場として公民館長会議を実施する。 ・能代市芸術文化協会と連携し、市民文化月間への参加団体の維持・拡大を図る。		

事業・取組	勤労青少年ホーム活動事業、公民館活動事業						3-③																			
方針・目標	若者の仲間づくりや自主的な活動を支援するほか、地域づくりやボランティア活動をはじめとして、社会への実践的な参画を奨励、促進します。																									
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9																			
	勤労青少年ホーム利用グループ数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値+1]	目標	5 以上																							
		実績	5	6																						
	中央公民館開催中高生ボランティア育成講座参加者数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]	目標	68 人以上																							
		実績	79 人	141 人																						
実績及び成果	1 勤労青少年ホーム利用者連絡協議会登録者数 <table><tr><td></td><td>5 年度</td><td>6 年度</td></tr><tr><td>利用グループ数</td><td>5団体</td><td>6団体</td></tr><tr><td>登録人数</td><td>18人</td><td>18人</td></tr></table> ・活動場所がコロナワクチン接種会場となり活動できなかった団体が再登録し活動を再開した。 ・新型コロナの影響が回復傾向にあり、若干の増加傾向が見えている。 2 中央公民館開催中高生ボランティア育成講座事業内訳（数値は延べ数） <table><tr><td></td><td>5 年度</td><td>6 年度</td></tr><tr><td>回数</td><td>8回</td><td>12回</td></tr><tr><td>参加者数</td><td>79人</td><td>141人</td></tr></table> ・ボランティア受け入れ行事の中止等により回数及び参加者数に変動がある。									5 年度	6 年度	利用グループ数	5団体	6団体	登録人数	18人	18人		5 年度	6 年度	回数	8回	12回	参加者数	79人	141人
	5 年度	6 年度																								
利用グループ数	5団体	6団体																								
登録人数	18人	18人																								
	5 年度	6 年度																								
回数	8回	12回																								
参加者数	79人	141人																								
点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																							
	[説明] ・勤労青少年ホーム利用者連絡協議会登録の利用グループ数は6団体で、目標値5団体との差は+1団体であった。 ・中央公民館開催「中高生ボランティア育成講座参加者は141人で、目標値68人との差は+73人であった。																									
課題及び今後の方向性	□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・能代市勤労青少年ホーム利用者連絡協議会は、勤労青少年ホームへの登録者で構成されており、その活動を補助し、経済的負担を軽減することにより、ホームの利用促進を図り、もって青少年の連帯意識の高揚と活動の活性化を図ることを目的とし、施設使用料に対しその一部を補助している。 ・新たな登録グループや活動参加者の増加につながるよう、指定管理者と連携していく。																									

基本目標

4 ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興

ふるさとの誇りを守り伝えるため、郷土の伝統芸能や文化財を市民共有の財産として、その保存、継承に取り組みます。また、子どもの文化体験活動を推進することにより、世代間交流を促し、あらゆる世代が共に文化芸術を楽しむ場をつくります。

【施策の方向性】

① 子どもの文化体験活動支援

相談体制を整えることにより、学校における文化芸術体験や親子の伝統文化体験活動を支援します。

② 地域固有の文化芸術の継承

学校や地域と連携し、地域固有の文化芸術である民俗芸能や民俗行事の継承活動を支援します。

③ 文化財等の調査・保存・活用の推進

文化財等や歴史資料、その他の資料の分類・整理を進め、活用を進めていきます。また、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。

大橋 純一 氏

ふるさとの文化芸術を次世代に伝える取り組みが、教育・芸術・保存の各面から着実に進められました。文化庁の事業を活用した子ども向け文化体験では、小学校での芸術家による講話や実技体験、伝統文化親子教室での礼法・舞踊の習得が行われ、創造力や表現力を育む貴重な機会となりました。また、市民ミュージカルや文化会館での鑑賞教室も開催され、芸術に親しむ裾野の拡大につながっています。

地域固有の文化芸術の継承においては、民俗芸能連合会や子ども民俗芸能発表会の再開、後継者育成への支援、用具整備などが丁寧に行われ、伝統芸能の維持に向けた基盤づくりが見られました。特に若年層の参加や発表の場の創出は、世代を超えた継承意識を高めるものとして評価できます。動画アーカイブも徐々に成果を上げており、今後の活用が期待されます。

文化財の保存・活用においては、新たな市指定・県指定文化財の登録や、個人所蔵資料の受け入れと整理、市所蔵品のデータベース整備など、進展がありました。公開率が目標に届かなかった点は課題ですが、資料整理等の進捗が一定の水準にあることも併せて理解したいところです。

また、檜山城跡を中心とした史跡整備・保全も継続され、発掘調査や除草、災害対応、教育活動の実施など、専門的知見を活かしながらの丁寧な取り組みが光ります。住民ガイドとの連携も継続しており、地域資源の活用と理解促進の両立を図る内容でした。全体として、文化芸術の多面的な継承と振興が、着実に根づいていることを実感する1年となりました。

佐藤 俊之 氏

ふるさとの文化の継承と文化芸術の振興は、地域に根ざした目標であり、とても意義深いと思います。

学校における文化芸術体験や親子の伝統文化体験活動は、教室での学びでは得られない「生きた学び」になります。そして、学校や家庭の力だけでは難しい文化芸術活動の「広がり」と「深まり」を実現し、子どもたちの成長と地域文化の未来を支える大きな意味があると思います。また、地域固有の文化芸術である民俗芸能・民俗行事（ささら、番楽、踊、舞など）の継承活動においては、子どもたちが自分たちのふるさとに誇りを持つようになることが期待され、アイデンティティの形成や郷土愛の醸成につながります。さらに、指導者や関係者にとっても、自分の知識や技術が伝えられることは大きな喜びになります。「ほぼ目標どおり」以上の評価がなされていますが、人材・財源の確保等、課題も多いかと思います。一つ一つ解決しながら取り組んでほしいと思います。

「文化財等や歴史資料、その他の資料の分析・整理と活用を進めていくこと」や「檜山安東氏城館跡保存管理」については、地域の過去を守り、未来へ伝えるための基盤となる重要な取組です。教育・文化・観光・防災といった多面的な価値を持つことから、計画的かつ市民と協議した進行為望まれます。予算を含め、想定外の事案に対応せざるを得ないこともあるかと思いますが、継続した取組をお願いします。

事業・取組	市民文化振興事業、文化会館主催事業						4－①	
方針・目標	学校における文化芸術体験や親子の伝統文化体験活動を支援します。							
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9	
	子供育成推進事業数 (実績値)=(実数)	目標	2 以上					
	[目標設定基準:R4 実績値]	実績	3	2				
	伝統文化親子教室事業数 (実績値)=(実数)	目標	3 以上					
	[目標設定基準:R4 実績値]	実績	3	2				
実績及び成果	文化庁の文化芸術による子供育成推進事業のうち、芸術家の派遣事業は、小学校・中学校等に個人または少人数の芸術家を派遣し、講話、実技披露、実技指導（以下「講話等」という。）を実施することにより、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的とした事業で、小学校2校で実施した。 文化庁の伝統文化親子教室事業は、次代を担う子供たちを対象に、伝統文化等に関する活動を計画的・継続的に体験・習得できる取組及び教室で習得した技芸等の成果を披露する発表会や、地域で開催される行事等へ参加する取組が対象で、2団体が事業を活用した。							
	1 市民文化振興（文化芸術団体等への支援等）							
	・文化芸術による子供育成推進事業（文化庁／小学校2校（四小、浅内小）で実施）							
	・伝統文化親子教室事業（文化庁／採択2事業）							
	能代市伝統文化和装礼法親子教室							
	のしろ日本舞踊親子教室							
	・芸術文化活動事業費補助金（ミュージカル等公演費の補助）							
	能代市民ミュージカル 650 千円（2/23 来場 778 人/出演 80 人）							
	・能代ミュージカルキッズ支援（練習会場使用料等の補助）→R6 は公演なし							
	・その他（後援、文化会館助成等）							
2 文化会館主催事業と学校（芸術鑑賞教室等）との連携								
・令和6年度								
事業名		開催日	対象		入場者			
公共ホール音楽活性化事業「金子三勇士」学校アクティビティ		9/6	能代東中1年 第五小3年		27 名 24 名			
・令和5年度								
事業名		開催日	対象		入場者			
わらび座ミュージカル「北斎マンガ」学校アウトリーチ		9/8	浅内小全校		59 名			
公共ホール音楽活性化事業「カメハ」学校アクティビティ		1/18	能代東中1年 第五小3年		38 名 22 名			
		1/19	支援学校中学部 湊城南小3年		19 名 47 名			

点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・ 子供育成推進事業数は 2 事業で、目標値 2 事業との差は±0 であった。 ・ 伝統文化親子教室事業数は 2 事業で、目標値 3 事業との差は△1 事業であった。		
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 ()		
	[具体的な課題及び取組] ・ 市ホームページや広報を中心に情報提供を行う。 ・ 各種助成事業等については、引き続き様々な団体が利活用できるよう、わかりやすい周知に努める。 ・ 指定管理者と連携し、文化会館主催事業と学校（芸術鑑賞教室等）との連携を図る。		

事業・取組	民俗芸能振興事業						4-②		
方針・目標	学校や地域と連携し、地域固有の文化芸術である民俗芸能や民俗行事の継承活動を支援します。								
目標指標	指標			R5	R6	R7	R8	R9	
	民俗芸能アーカイブ公開動画数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]		目標	241	242	243	244	245	
			実績	241	247				
実績及び成果	1 能代市民俗芸能連合会の活動を支援した。 ・構成団体数（単位保存会数/R7.3.31 現在）：16 団体 ・合同発表会 能代会場：10/6 アリナス 1 団体出演 二ツ井会場：11/3 きみまち阪第一広場 6 団体出演								
	2 後継者育成事業を支援した。 ・子ども民俗芸能発表会：11/10 二ツ井伝承ホール 出演：鰺淵番楽・鶴形ささら・富根報徳番楽 中学生 7 人・高校生 5 人 参加者数：70 人 ・鳥形獅子踊：向能代小学校正課クラブ活動 ・檜山舞・鰺淵番楽・鶴形ささら：能代東中学校合同発表会								
	3 用具整備を支援した。 ・切石郷土芸能振興会：切石作々楽 笛新調 ※県補助 ・鰺淵番楽保存会：鰺淵番楽作務衣・扇子新調								
	4 民俗芸能の記録保存を支援した。 能代市民俗芸能アーカイブ（Youtube） ※令和 4 年度運用開始								
				5 年度	6 年度	前年比			
	チャンネル登録者数（人）			74	101	27			
	公開動画数（本）			241	247	6			
	視聴数（回）			13,484	18,250	4,766			
	点検・評価	評価	A	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る					
		[説明] ・民俗芸能アーカイブ公開動画数は 247 で、目標値 242 との差は+5 であった。 徐々にチャンネル登録者数、視聴者数を増やしている。 ・5 年ぶりに能代市子ども民俗芸能発表会を開催することができた。							
課題及び今後の方向性									
□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・地域コミュニティが縮小していく現状では、地域外の人材を呼び込むこと、存続している行事を記録すること、休止・消滅した行事の記録・用具等を収集保管することが、今後の支援の方向性となるため、民俗芸能アーカイブの運用を促進する。 ・学校との連携においては、学校での活動のあり方、指導する人材、児童生徒の興味関心、発表の場など、複合的な課題がある。引き続き連携のあり方を検討していく。 ・会員数の減少と高齢化は各保存会共通の課題であるが、即効的な対応は困難である。今後も連合会と連携し、用具修繕への補助など、単位保存会への支援を継続していく。									

事業・取組	文化財保護事業／能代文化財資料収蔵庫管理費										4－③																																																																																																					
方針・目標	文化財等や歴史資料、その他の資料の分類・整理を進め、活用を進めていきます。																																																																																																															
目標指標	指標			R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																								
	指定・登録文化財数 (実績値)=(実数) [目標設定基準:R4 実績値]		目標	101 以上																																																																																																												
			実績	101	102																																																																																																											
	収蔵庫データベース公開率 (実績値)=((公開件数)/(R6.3.31 現在収蔵件数))×100		目標値		40%	100%	110%	120%																																																																																																								
			実績		4%																																																																																																											
実績及び成果	1 指定・登録文化財 (R7.3.31 現在) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="7">有形文化財</th><th rowspan="2">無形文化財</th><th rowspan="2">有形民俗文化</th><th rowspan="2">無形民俗文化</th><th colspan="3">記念物</th><th rowspan="2">合計</th></tr><tr><th>建造物</th><th>絵画</th><th>彫刻</th><th>工芸</th><th>書跡</th><th>考古</th><th>歴史資料</th><th>史跡</th><th>名勝</th><th>天然記念物</th></tr><tr><td>国指定</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td>2</td></tr><tr><td>県指定</td><td>2</td><td></td><td>4</td><td></td><td>3</td><td>4</td><td>1</td><td></td><td></td><td>7</td><td>4</td><td></td><td>4</td><td>29</td></tr><tr><td>市指定</td><td>5</td><td>12</td><td>2</td><td>14</td><td>15</td><td>2</td><td></td><td></td><td>6</td><td>8</td><td>1</td><td></td><td>2</td><td>67</td></tr><tr><td>国登録</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr><tr><td>計</td><td>11</td><td>12</td><td>6</td><td>14</td><td>18</td><td>6</td><td>1</td><td></td><td>6</td><td>15</td><td>7</td><td></td><td>6</td><td>102</td></tr></table> 〔県指定〕史 跡 日和山方角石 1 基 R7.3.21 ※条例第 5 条第 3 項により市指定は解除 〔市指定〕建造物 金刀比羅神社社殿 1 棟 R7.2.18 2 個人所蔵の資料調査及び寄贈寄託受入、市所蔵資料の分類整理 - 資料整理 旧市史編さん事業収集資料・古写真パネルの整理ほか - 寄贈寄託受入 指定文化財「多賀谷重経感状」「多賀谷重康感状」 落合家文書 1 点 梅田紀代志画「杉沢台遺跡想像図」ほか 3 文化財等の活用 (写真掲載等は除く) 特別展示 : なし 他機関等貸出: 考古資料 443 点 (更新含む)／古文書 9 点 ※ 貸出先: 秋田県立博物館・能代市立図書館ほか 資料調査 : 古文書 6 点／調査記録 2 点 4 関係団体学習活動等の支援 ①秋田県文化財保護協会能代支部 - 市外研修会「補陀寺と秋田県南の史跡・文化財を知る研修会」 共催 11/13 於 亀象山補陀寺・秋田県埋蔵文化財センターほか 参加者: 33 人 【満足度 平均 4.7 94%】 ②二ツ井町文化財保護協会 - 歴史講演会 後援 「加護山製錬所創建までの 3 年間の全貌」講師: 中屋伸一 氏 5/19 於: 二ツ井公民館 参加者: 24 人 5 文化財資料収蔵庫収蔵品管理システムの整備 https://www.city.noshiro.lg.jp/res/rekishi/syuuzouko/25186 【データベース登録・公開件数】 (R7.3.10 現在)													有形文化財							無形文化財	有形民俗文化	無形民俗文化	記念物			合計	建造物	絵画	彫刻	工芸	書跡	考古	歴史資料	史跡	名勝	天然記念物	国指定											2			2	県指定	2		4		3	4	1			7	4		4	29	市指定	5	12	2	14	15	2			6	8	1		2	67	国登録	4													4	計	11	12	6	14	18	6	1		6	15	7		6	102
	有形文化財							無形文化財	有形民俗文化	無形民俗文化	記念物			合計																																																																																																		
	建造物	絵画	彫刻	工芸	書跡	考古	歴史資料				史跡	名勝	天然記念物																																																																																																			
国指定											2			2																																																																																																		
県指定	2		4		3	4	1			7	4		4	29																																																																																																		
市指定	5	12	2	14	15	2			6	8	1		2	67																																																																																																		
国登録	4													4																																																																																																		
計	11	12	6	14	18	6	1		6	15	7		6	102																																																																																																		

	考 古（復元土器など）： 209 件（うち 209 件公開） 出土遺物コンテナ： 776 件（うち 776 件公開） 歴史資料： 8 件（うち 8 件公開） 能代春慶塗： 468 件（うち 451 件公開） 美術工芸（絵画・書跡）： 8 件（うち 8 件公開） データベース公開率：4% 登録作業進捗率：45.7%		
点 検 ・ 評 価	評価	B	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・指定・登録文化財数は 102 で、目標値 101 との差は+1 であった。新規に有形文化財（建造物）を市指定とし、また、市指定文化財を県指定文化財とした。地域文化への関心を高め、保護意識の涵養に努めたい。 ・収蔵庫データベース（収蔵品管理システム）を整備した。公開率は 4% で、目標値 40% との差は△36 ポイントであった。		
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）		
	[具体的な課題及び取組] ・収蔵施設を拠点として市所蔵資料の保管、整理を進めるとともに、個人所蔵文化財の所在調査（追跡調査）及び情報収集に努め、市外への流出や散逸が懸念されるものについては、市への寄贈寄託を依頼していく。 ・収蔵庫の収蔵資料データベースの作成と公開を進め、市民や調査研究者が資料情報へ容易にアクセスできる基盤を整備する。 ・専門機関や団体と連携しながら、研修会や講座、特別企画展示等を開催することで、文化財等の活用を図っていく。		

事業・取組	檜山安東氏城館跡保存管理事業						4－③																
方針・目標	国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。																						
目標指標	指標			R5	R6	R7	R8	R9															
	見学会・報告会・ガイド研修会等参加者数（延べ人）		目標	40人以上																			
			実績	40人	27人																		
実績及び成果	1 発掘調査 5年度に引き続き通称「本丸」の調査を実施した。 調査整備委員会：①7/30 ②11/20 ※現地指導は随時実施 調査箇所：通称「本丸」、解説板設置予定地 調査期間：5/27 ～ 9/13 調査面積：約 111 m ²																						
	2 史跡活用のための整備 計画に基づく整備を行った。 景観伐木：支障木・危険木伐採（中館周辺） 約 100 本 集積木運搬処理：二の丸西側周辺 20t 除伐：本丸・高山分岐付近 約 0.5ha 伐木集積：茶園地区 0.1ha ※散策のためのサイン（進路指示案内板）は令和5年度に終了。																						
	3 史跡管理のため除草を行った。 延べ 29ha 檜山城跡：遺構箇所 11 ha×2回、遊歩道 2回 大館跡：遺構箇所 7 ha×1回																						
	4 史跡き損に対応した。 令和5年7月大雨災害による斜面崩落 4ヵ所 ・令和5年7月大雨被害き損箇所復旧工事実施設計委託 ・10/25 文化庁文化財調査官 現地指導																						
	5 教育普及活動を行った。 能代東中学校ふるさとを知る活動 5/8 参加者 46人 ※のしろ檜山周辺歴史ガイドの会 対応 檜山城跡発掘調査見学会 9/1 参加者 27人 主催																						
	6 のしろ檜山周辺歴史ガイドの会と連携した。																						
	<table><tr><td colspan="2"></td><td>5年度</td><td>6年度</td></tr><tr><td colspan="2">会員数（名）</td><td>28</td><td>26</td></tr><tr><td rowspan="2">ガイド実績</td><td>件数</td><td>31</td><td>18</td></tr><tr><td>人数</td><td>489</td><td>435</td></tr></table>										5年度	6年度	会員数（名）		28	26	ガイド実績	件数	31	18	人数	489	435
			5年度	6年度																			
	会員数（名）		28	26																			
	ガイド実績	件数	31	18																			
人数		489	435																				
点検・評価	評価	C	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																				
	[説明] ・見学会及び報告会の参加者数は 27 人で、目標値 40 人との差は△13 人であった。き損箇所復旧工事への対応があり、檜山城跡発掘調査に関する報告会・講演会等を実施できなかったため、目標を下回った。 ・調査整備委員会の意見を取り入れながら、発掘調査及び史跡整備を実施することができた。																						

課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）
	[具体的な課題及び取組] ・ 調査整備委員会や国調査官の意見を踏まえながら、発掘調査及び整備を実施する。調査総括報告書の作成、整備計画の見直しを行う。 ・ 史跡保護と理解のための全体案内板を設置するなど、史跡の価値をわかりやすく伝えるための整備を進める。 ・ 史跡への関心を高めるための情報発信のあり方を検討し、様々な手法によるタイムリーな情報提供に努める。 ・ 民間業者によるき損対応の公有化については、当該地の境界について疑義があるため、専門家の協力を仰ぎながら進めていく必要があるほか、高額な測量費用の予算化の目途が立たず、事業化が困難な状況にある。

基本目標

5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進

市民や関係団体等と連携・協働しながら、だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、健康で豊かな生活を営む元気なまちを目指します。また、スポーツを活用して交流人口の拡大を図るとともに、地域に活力をつくり出します。

【施策の方向性】

① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、学校体育と地域のスポーツ活動を支援し、体力の向上に努めるとともに、地域における子ども・若者のスポーツ機会の充実を図ります。

② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

体力や年齢等に応じて、日常的に運動やスポーツを楽しみながら、体力づくり、健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。

③ スポーツを活用した地域の活性化

バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致、トップアスリート等によるスポーツ教室の実施により交流人口の拡大に努めます。

④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備

スポーツクラブ等への支援や地域スポーツ指導者・協議スタッフ等の人材育成・支援に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実を図ります。

学識経験者の意見（基本目標 5）

大橋 純一 氏

子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツに親しむ機会が提供され、健やかな暮らしと地域の活性化に寄与する取り組みが多面で展開されました。新体力テストでは、県平均を上回った学年の割合が 72.2%に達し、運動の習慣化や各種イベントの成果が数字に表れています。また、ドッジボール大会やマラソン大会など、小中学生の参加が目立つ事業も多く、スポーツの楽しさを実感できる環境が整ってきたと感じます。

成人・高齢者向けの講座も、太極拳や山登り、エクササイズ教室など多様に展開され、延べ参加者は増加傾向にあります。特に総合型地域スポーツクラブによる取り組みが充実し、市民の健康意識の向上にもつながっています。週 1 回以上スポーツを行う成人の割合も、目標を上回りました。

また、「バスケの街」としての施策も継続され、バスケット関連イベントやミニ大会の開催、屋外リングの設置など、まち全体が一体となった取り組みが印象的でした。合宿誘致やマラソン大会による交流人口の増加という点でも、成果を上げています。ただし、特色あるイベントの参加者数が目標を下回った点に関しては、企画内容や周知の仕方に再考の余地があることを示しているかもしれません。

スポーツ施設の整備・管理、開放制度の充実も進められ、市民の利便性と安全性を両立した運営が図られました。利用者数はやや減少傾向にあるものの、改善努力が続けられている点は評価できます。また、指導者の育成や表彰制度も継続され、支える側の育成にも着目した体制づくりが進んでいます。全体として、生涯スポーツの推進と地域の一体感を生む施策が着実に進められた 1 年でした。

佐藤 俊之 氏

本目標は、「スポーツを通じた地域活性化という」方向性が明確で、市民の健康増進・交流促進・地域の元気づくりといった多面的な価値が含まれています、そして、そのための事業・取組も具体的に計画されています。

子どもの体力向上については、関係団体と連携し、多様なスポーツ活動・イベントを数多く実施しています。また、小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりにおいては、スポーツ少年団の支援や、部活動の地域移行に関する相談業務などを行っています。これらは、学校で取り組むことが困難なことであり、新体力テスト体力合計平均の好結果に結びついていると判断できます。成人の週 1 回以上のスポーツ実施率も「ほぼ目標どおり」であり、青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充や環境整備に行政・関係者の努力が伺えます。特色あるスポーツイベントを開催し参加者数を増やすことについては、目標をやや下回ったようです。様々な事情（全国規模の大会誘致など）が考えられますが、情報発信の工夫や関係団体との連携強化を図り、継続した支援をお願いします。スポーツに関する表彰制度については、選手はもちろん、指導者や関係者のモチベーションを高めています。更なる活躍や（スポーツの）継続的な取組につながるよう、今後をお願いします。

喫緊の対応が必要なものとして、中学校部活動の地域移行があります。指導者の確保、活動場所、費用負担、生徒のニーズと活動内容のミスマッチなど、課題は多いかと思います。地域スポーツ・文化の活性化を目指して、引き続き支援をお願いします。

事業・取組	1 子どもの体力向上の推進 2 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進						5-①
方針・目標	心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、スポーツ少年団や地域のスポーツ活動等を支援し、体力の向上に努めるとともに、競技力向上を図ります。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	新体力テスト体力合計点平均が県平均を上回る学年（男女別）の割合	目標	50%以上				
	(実績値) = ((県平均を上回る学年(男女別)の数) / (2×9 学年)) × 100	実績	55.5%	72.2%			
実績及び成果	1 子どもの体力向上の推進 関係団体と連携し、各種事業を通して運動の習慣化等に取り組んだ。 ○主な事業 ・能代市 きみまち二ツ井マラソン 参加者1,912人、うち小・中学生306人 R5：参加者1,607人、うち小・中学生278人 NOSHIROバスケットボールフェスタ 8/7 80人 R5：98人 ・指定管理者 マリンスポーツ教室 16回 R5:16回 ※カヌー&ヨット体験他 スポレクフェスタのしろ 10/9 273人 R5:603人、 ふたつ 1/19 107人 R5：74人 ファミリーいきいき水泳塾・体操塾・陸上塾・スポーツ塾 各4回 164人 R5:各4回269人 ・市スポーツ協会 ブラウブリッツ秋田サッカークリニックin能代 10/26 19人 R5：27人 能代市ドッチボール大会 2/9 266人 R5:225人 ※約半数が小学生 ・総合型地域スポーツクラブ 親子遊び運動教室 24回 150人 R5:24回 230人 ・市スポーツ少年団 スポレクフェスタのしろ兼能代市スポーツ少年団交流大会 10/9 273人 R5：603人 体力テスト（7種目のうち、5m時間往復走、腕立て伏せ、立ち3段跳びを各団で測定し結果提出） 2 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進 ・スポーツ少年団の活動への支援 スポーツ少年団への活動費の支援 指導者研修会の開催及び情報提供 ・将来にわたり子ども達が継続してスポーツ等に親しむことができる環境づくりを目指し、段階的に地域移行を推進した。 組織体制の見直しの検討、地域移行に関する相談業務 説明会等の開催、NOSHIROソフトボールクラブの運営						

点 検 ・ 評 価	評価	A A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																																																																													
	[説明] ・新体力テストにおける体力合計点の平均が県平均を上回る学年（男女別）の割合は72.2%で、目標値50%との差は+22.2ポイントであった。 $(13 \div (9 \text{ 学年} \times 2)) \times 100 \approx 72.2\%$ 【体力合計点平均（新体力テスト／6年度）】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">小1</th> <th colspan="2">小2</th> <th colspan="2">小3</th> <th colspan="2">小4</th> <th colspan="2">小5</th> <th colspan="2">小6</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>31.69</td> <td>32.09</td> <td>39.05</td> <td>39.34</td> <td>44.05</td> <td>45.78</td> <td>49.97</td> <td>51.99</td> <td>55.29</td> <td>57.18</td> <td>61.24</td> <td>62.00</td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>33.87</td> <td>32.83</td> <td>39.73</td> <td>40.33</td> <td>43.98</td> <td>46.10</td> <td>50.48</td> <td>52.90</td> <td>55.89</td> <td>59.11</td> <td>60.45</td> <td>63.07</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>2.18</td> <td>0.74</td> <td>0.68</td> <td>0.99</td> <td>-0.07</td> <td>0.32</td> <td>0.51</td> <td>0.91</td> <td>0.60</td> <td>1.93</td> <td>-0.79</td> <td>1.07</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">中1</th> <th colspan="2">中2</th> <th colspan="2">中3</th> </tr> <tr> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>秋田県</td> <td>35.72</td> <td>44.90</td> <td>45.02</td> <td>50.53</td> <td>50.44</td> <td>52.45</td> </tr> <tr> <td>能代市</td> <td>34.81</td> <td>45.01</td> <td>42.64</td> <td>51.12</td> <td>50.35</td> <td>55.51</td> </tr> <tr> <td>比較</td> <td>-0.91</td> <td>0.11</td> <td>-2.38</td> <td>0.59</td> <td>-0.09</td> <td>3.06</td> </tr> </tbody> </table>															小1		小2		小3		小4		小5		小6		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	31.69	32.09	39.05	39.34	44.05	45.78	49.97	51.99	55.29	57.18	61.24	62.00	能代市	33.87	32.83	39.73	40.33	43.98	46.10	50.48	52.90	55.89	59.11	60.45	63.07	比較	2.18	0.74	0.68	0.99	-0.07	0.32	0.51	0.91	0.60	1.93	-0.79	1.07		中1		中2		中3		男子	女子	男子	女子	男子	女子	秋田県	35.72	44.90	45.02	50.53	50.44	52.45	能代市	34.81	45.01	42.64	51.12	50.35	55.51	比較	-0.91	0.11	-2.38	0.59	-0.09
	小1		小2		小3		小4		小5		小6																																																																																																				
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																																			
秋田県	31.69	32.09	39.05	39.34	44.05	45.78	49.97	51.99	55.29	57.18	61.24	62.00																																																																																																			
能代市	33.87	32.83	39.73	40.33	43.98	46.10	50.48	52.90	55.89	59.11	60.45	63.07																																																																																																			
比較	2.18	0.74	0.68	0.99	-0.07	0.32	0.51	0.91	0.60	1.93	-0.79	1.07																																																																																																			
	中1		中2		中3																																																																																																										
	男子	女子	男子	女子	男子	女子																																																																																																									
秋田県	35.72	44.90	45.02	50.53	50.44	52.45																																																																																																									
能代市	34.81	45.01	42.64	51.12	50.35	55.51																																																																																																									
比較	-0.91	0.11	-2.38	0.59	-0.09	3.06																																																																																																									
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ） [具体的な課題及び取組] 1 子どもの体力向上の推進 幼児から児童生徒まで運動の習慣化に繋げていくため、関係団体と連携しながら引き続き効果的な事業展開を図る。 2 小・中学生が好きなスポーツができる環境づくりの推進 中学校部活動の地域移行を推進しつつ、今後少子化によりスポーツ少年団の減少も見込まれることから、生徒・児童が活動しやすい環境づくりを目指し、事業を推進する。																																																																																																														

事業・取組	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 3 健康づくり運動の推進						5-②
方針・目標	体力や年齢等に応じて、日常的に運動やスポーツを楽しみながら、体力づくり、健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	成人の週1回以上のスポーツ実施率 (実績値)=(市民意識調査結果)	目標	50%以上				
		実績	49.0%	51.2%			
実績及び成果	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 関係団体と連携し子育て世代等の運動機会の確保に取り組んだ。 ○主な事業 ・指定管理者 初めてのマシントレーニング教室 能代 4回 26人 R5：4回 29人、 二ツ井 4回 6人 R5：4回 16人 初めての山登り教室 4回 79人 R5：4回 49人 ステップエクササイズ教室 8回 39人 R5：8回 99人 ・市スポーツ協会 美ユーティBodyWave教室 8回 新規 ・総合型地域スポーツクラブ 各種講座 ※太極拳、ヨガ、フィットネス他 						

課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他（ ）
	[具体的な課題及び取組] 1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 継続事業は、各種教室や研修会等それぞれの団体において実施できている。成人の週1回以上のスポーツ実施率は微増したものの、引き続きニーズに対応したプログラムの提供や情報提供の工夫に加えて、気軽にスポーツができる方法を検討していく。 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。 3 健康づくり運動の推進 のしろ歩け歩け大会を実施するなど、各種イベントが再開してきている。各団体や地域と連携を深め、週1回以上のスポーツ実施率を引き上げられるよう、引き続きスポーツの習慣化を図っていく。

事業・取組	1 スポーツを活用した地域づくり 2 スポーツによる交流人口の拡大 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進						5-③
方針・目標	バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致や支援による交流人口の拡大に努めます。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	特色あるスポーツイベントの参加者数 (実績値)=(実数)	目標	4,000人以上				
		実績	4,144人	3,352人			
実績及び成果	1 スポーツを活用した地域づくり 関係団体と連携したスポーツ合宿等の取組 ・市スポーツ協会が中心となり実行委員会を組織し、バスケットボールキャラバンサマーリーグin能代を開催した。 2 スポーツによる交流人口の拡大 ① 関係団体、民間企業等と連携したスポーツによる交流の推進 ・きみまちの里フェスティバル（きみまち二ツ井マラソン、物産フェア） 参加者数 1,912人 R5:1,607人 ② 新たなスポーツの魅力の発掘及び開発支援 ③ 大規模なスポーツ大会・イベントと連動した観光誘客 ・能代カップの開催 参加者数 183人 R5:176人 ④ スポーツ合宿の誘致 ・バスケットボールキャラバン・サマーリーグin能代 355人 R5:349人 ・帝京大準硬式野球部の合宿 約100名 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 ① 本物のバスケに触れられる街づくり ② バスケで誰もが集える環境づくり ③ バスケによる地域経済の活性化 ④ バスケがどこでも感じられる街づくり ・能代カップ等への補助金の交付や、市教育長杯ミニバスケットボール大会、バスケットボールフェスタ等の事業を市バスケットボール協会等に委託し継続した。 ・屋外バスケットリングの設置 市内公園等 21カ所23基（6年度末）						
点検・評価	評価	C	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る				
	[説明] ・特色あるスポーツイベントの参加者数は3,352人で、目標値4,000人との差は△542人であった。 【バスケ関連イベント・大会及びきみまち二ツ井マラソンの参加者数の計】 6年度 3,352人 5年度 4,144人						

	※要因別の参加者数増減状況 きみまち二ツ井マラソンの参加者数の増 305 人増 全日本社会人O-40/O-50バスケ選手権（R5のみ） 647人減
課 題 及 び 今後の方向性	☐拡充 ☒継続 ☐廃止検討 ☐その他（ ） 〔具体的な課題及び取組〕 1 スポーツを活用した地域づくり 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。 2 スポーツによる交流人口の拡大 ・スポーツイベントは競技団体が主体となることが多いことから情報収集し、円滑な運営をしていくよう引き続きノウハウの蓄積に努める。 ・市民への情報発信の方法（広報、市ホームページ、SNS等）について、関係団体と連携し、効率的な伝え方を工夫していく。 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。

事業・取組	1 地域のスポーツ指導者等の充実 2 スポーツ施設の充実 3 スポーツに関する表彰制度の整備						5-④
方針・目標	総合型クラブの設立支援と地域スポーツ指導者等の人材育成に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実に努めます。						
目標指標	指標		R5	R6	R7	R8	R9
	スポーツ施設の人口1人当たりの年間利用者数 (実績値)=(年間利用者数)/(9月末人口)	目標	5.0人以上				
		実績	4.5人	4.5人			
実績及び成果	1 地域のスポーツ指導者等の充実 ① 地域のスポーツ指導者の育成と活用 ・市スポーツ推進委員会、市スポーツ協会、市スポーツ少年団等研修会の開催や派遣を行った。 ・研修会参加等の支援を行った。 ・スポーツ少年団指導者資格数 35団体 129人 R5:38団体 234人 ② スポーツリーダーバンク等の整備・充実の支援 ・市スポーツ協会スポーツリーダーバンク登録者数 12種目 25人 R5:12種目 22人 2 スポーツ施設の充実 ① スポーツ施設の整備・改修 ・グラウンドゴルフ場(R4.10.1供用開始)2,965人 R5:3,672人 ・能代市総合体育館の大規模改修 (冷房設備設置、床・天井の更新等R6.7~R7.6実施、R7.7供用再開) ② 学校体育施設等の活用 ・登録スポーツクラブ制度により、学校体育館開放を継続して行った。 (淳城西小、淳城南小、第四小、第五小、向能代小、浅内小) 利用者数 9,860人 ③ 利用者ニーズに対応した施設の管理運営と利用促進 ・指定管理者による定期点検など安全管理を行っている。 ・施設利用者アンケートの結果を反映して改善に努めた。 ・施設年間利用者数 205,877人 R5:220,184人 ④ 自然環境や屋外施設を活用したスポーツと健康づくりの推進 ・市主催 のしろ歩け歩け大会 参加54人 R5:55人 ・指定管理者 マリンスポーツ教室(米代川河口付近) 3 スポーツに関する表彰制度の整備 児童・生徒の表彰(能代市栄光賞、市スポーツ協会スポーツ賞)を継続して行った。 ・能代市栄光賞(スポーツ部門) 202人 R5:198人 ・市スポーツ協会スポーツ賞 8人 R5:6人						

点 検 ・ 評 価	評価	B		A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり												
				C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る												
	[説明] ・スポーツ施設の人口1人当たりの年間利用者数は4.5人で、目標値5.0人との差は△0.5人であった。 【スポーツ施設の利用状況】 (人) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>5年度</td> <td>6年度</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>220,184</td> <td>205,877</td> </tr> <tr> <td>9月末人口</td> <td>48,559</td> <td>47,472</td> </tr> <tr> <td>人口1人当たりの年間利用者数 (利用者数／9月末人口)</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> </tr> </table>						5年度	6年度	利用者数	220,184	205,877	9月末人口	48,559	47,472	人口1人当たりの年間利用者数 (利用者数／9月末人口)	4.5	4.5
	5年度	6年度															
利用者数	220,184	205,877															
9月末人口	48,559	47,472															
人口1人当たりの年間利用者数 (利用者数／9月末人口)	4.5	4.5															
課 題 及 び 今後の方向性	☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 廃止検討 ☐ その他 ()																
	[具体的な課題及び取組] 1 地域のスポーツ指導者等の充実 ・スポーツ環境を整備する上で指導者の養成・確保は重要であり、そのための研修会や人材の発掘等については、引き続き各団体と連携し取り組んでいく。さらに、養成した指導者を効果的に活用するよう市スポーツ協会のスポーツリーダーバンク等による指導者の派遣を行っていく。 2 スポーツ施設の充実 ・適切な施設の維持管理を行う。 ・経年劣化している施設の整備について、計画的な修繕及び改修を行う。 ・長寿命化計画に基づき施設の改修計画の検討を行う。																

Ⅲ 教育委員会の運営状況

1 教育委員会の開催状況

(1) 開催状況

定例会 12回 臨時会 4回

(2) 審議された案件等

年月日	区 分	番 号	件 名
R6. 4. 25	定例会	承認 第2号	臨時代理の承認について（能代市招致外国青年の任用に関する規則の一部改正について）
		承認 第3号	臨時代理の承認について（能代市教育委員会の後援等に係る事務取扱要綱の制定について）
		議案 第18号	能代市学校運営協議会委員の任命について
		議案 第19号	能代市教育支援委員会委員の任命について
		議案 第20号	能代市公民館活動協力員の委嘱について
R6. 5. 23	定例会	承認 第4号	臨時代理の承認について（能代市教育委員会事務決裁規程の一部改正について）
		承認 第5号	臨時代理の承認について（能代市立二ツ井図書館処務規程の一部改正について）
		承認 第6号	臨時代理の承認について（能代市教育委員会関係職員の人事異動の発令について）
		議案 第21号	能代市社会教育委員の委嘱について
		議案 第22号	能代市公民館運営審議会委員の委嘱について
		議案 第23号	能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第24号	能代市文化会館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第25号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
		議案 第26号	令和6年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
		議案 第27号	議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について（能代市総合体育館大規模改修工事（建築主体工事）の請負契約について）
		議案 第28号	議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について（能代市総合体育館大規模改修工事（機械設備工事）の請負契約について）
R6. 6. 25	定例会	議案 第29号	能代市文化財保護審議会委員の任命について
		議案 第30号	能代市部活動地域移行推進協議会委員の委嘱について
		議案 第31号	能代市立図書館協議会委員の任命について
R6. 7. 25	定例会	承認 第7号	臨時代理の承認について（損害賠償の額を定め和解することの報告について）
		議案 第29号	第3次能代市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱の制定について
R6. 8. 5	臨時会	議案 第33号	令和7年度使用能代市立中学校教科用図書の採択について

R6. 8. 22	定例会	議案 第 34 号	第 3 次能代市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱について
		議案 第 35 号	能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
		議案 第 36 号	令和 6 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
		議案 第 37 号	議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について（向能代公民館改築工事（建築主体工事）の請負契約について）
R6. 9. 24	定例会		なし
R6. 10. 24	定例会	承認 第 8 号	臨時代理の承認について（損害賠償の額を定め和解することの報告について）
		議案 第 38 号	能代市教育支援委員会委員の任命について
R6. 11. 15	定例会	議案 第 39 号	能代市立図書館の指定管理者の指定に対する意見の申出について
		議案 第 40 号	能代市総合体育館等スポーツ施設の指定管理者の指定に対する意見の申出について
		議案 第 41 号	令和 6 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R6. 12. 5	臨時会	議案 第 42 号	能代市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 43 号	令和 6 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R6. 12. 26	定例会	承認 第 9 号	臨時代理の承認について（能代市教育委員会職員の分限処分の発令について）
		承認 第 10 号	臨時代理の承認について（能代市教育委員会職員の懲戒処分の発令について）
R7. 1. 24	定例会	承認 第 1 号	臨時代理の承認について（損害賠償の額を定め和解することの報告について）
		承認 第 2 号	臨時代理の承認について（能代市公民館の管理運営に関する規則等の一部改正について）
		承認 第 3 号	臨時代理の承認について（能代市教育委員会事務局処務規程の一部改正について）
		承認 第 4 号	臨時代理の承認について（能代市立中学校部活動指導員配置要綱及び能代市学習用モバイルルーターの貸与に関する要綱の一部改正について）
R7. 2. 17	定例会	承認 第 5 号	臨時代理の承認について（損害賠償の額を定め和解することについて）
		議案 第 1 号	能代市学校給食費に関する条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 2 号	能代市学校法人の助成に関する条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 3 号	能代市公民館条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について

		議案 第 4 号	能代市総合体育館条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 5 号	能代市農林漁家婦人活動促進施設条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 6 号	能代市農林漁家婦人活動促進施設の管理運営に関する規則の一部改正について
		議案 第 7 号	能代市立小、中学校管理規則の一部改正について
		議案 第 8 号	能代市招致外国青年の任用に関する規則の一部改正について
		議案 第 9 号	能代市指定有形文化財の指定について
		議案 第 10 号	第 3 次能代市こども読書活動推進計画について
		議案 第 11 号	議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について（能代市総合体育館大規模改修工事（建築主体工事）の請負契約の変更について）
		議案 第 12 号	令和 6 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
		議案 第 13 号	令和 7 年度能代市一般会計予算案に対する意見の申出について
R7. 2. 21	臨時会	議案 第 14 号	令和 7 年度能代市立小・中学校教職員の人事異動の内申について
R7. 3. 18	臨時会	議案 第 15 号	令和 7 年度能代市教育委員会関係職員の人事異動の発令について
R7. 3. 27	定例会	議案 第 16 号	能代市学校医の委嘱について
		議案 第 17 号	能代市地域学校協働活動推進員の委嘱について
		議案 第 18 号	能代市スポーツ推進委員の委嘱について
		議案 第 19 号	令和 7 年度能代市学校教育指導の重点について
		報告 第 1 号	令和 7 年度能代市社会教育施設運営方針について

2 教育委員の活動状況

年月日	行 事
R6. 5. 30	能代山本市町教育委員会連合会総会
R6. 7. 12	東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会
R6. 8. 14	能代市成人式
R6. 10. 23	能代山本市町教育委員会連合会委員研修会
R6. 10. 29	能代市教育委員会学校訪問（能代東中学校）
R6. 11. 18	未来を創る能代っ子ふるさと会議
R6. 11. 26	秋田県市町村教育委員会連合会および秋田県都市教育長協議会合同研修会
R7. 1. 15	能代市総合教育会議
R7. 3. 9	市立中学校卒業式
R7. 3. 11	市立小学校卒業式

能代市教育委員会事務点検・評価報告書
(令和6年度対象)

能代市教育委員会

〒018-3192

能代市二ツ井町字上台1番地1

(担当 教育総務課)

電 話 0185-73-2757

FAX 0185-73-6459

E-mail kyouiku@city.noshiro.lg.jp

議案第 34 号

議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 29 条の規定により市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求める。

令和 7 年 8 月 22 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

議会の議決を経るべき教育関係議案に対して市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求めようとするものである。

議案第 60 号

物品の取得について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 96 条第 1 項第 8 号及び能代市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成 18 年能代市条例第 41 号）第 3 条の規定により、次のとおり物品を取得することについて、議会の議決を求める。

令和 7 年 9 月 2 日提出

能代市長 齊 藤 滋 宣

- 1 物 品 名 フルコンサートグランドピアノ一式
- 2 取得価格 40,480,770 円
- 3 取得方法 随意契約
- 4 相 手 方 東京都品川区東品川二丁目 6 番 4 号 G1 ビル 3 階
スタインウェイ・ジャパン株式会社
代表取締役 阪 本 道 子

提案理由

能代市文化会館のフルコンサートグランドピアノ一式を購入しようとするものである。

議案第 35 号

議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 29 条の規定により市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求める。

令和 7 年 8 月 22 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

議会の議決を経るべき教育関係議案に対して市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求めようとするものである。

議案第 6 2 号

文化会館自家発電設備等改修工事の請負契約について

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 9 6 条第 1 項第 5 号及び能代市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（平成 1 8 年能代市条例第 4 1 号）第 2 条の規定により、次のとおり契約を締結することについて、議会の議決を求める。

令和 7 年 9 月 2 日提出

能代市長 齊 藤 滋 宣

- 1 工 事 名 文化会館自家発電設備等改修工事
- 2 契 約 金 額 2 7 1 , 0 4 0 , 0 0 0 円
- 3 契約の相手方 能代市字後谷地 7 番地 4
ユアテック・保坂電気工事・石井電気工事特定建設工事
共同企業体
代表者 株式会社 ユアテック 能代営業所
所長 藤 井 博 子
- 4 工 事 場 所 能代市文化会館
- 5 契 約 の 方 法 条件付一般競争入札

提案理由

文化会館自家発電設備等改修工事の請負契約を締結しようとするものである。

入札調書				
日 時	令和 7 年 7 月 25 日 午前 1 0 時 0 0 分			
工事名又は件名	文化会館自家発電設備等改修工事			
入札者		入札回数		
商号又は名称	代表者氏名	1 回		
ユアテック・保坂電気工事・石井電気工事特定建設工事共同企業体	藤井 博子	246,400,000	落札	
入札書比較価格	落札金額	落札者		
246,700,000 円	246,400,000 円	ユアテック・保坂電気工事・石井電気工事特定建設工事共同企業体		
予定価格	契約予定金額			
271,370,000 円	271,040,000 円			

議案第 36 号

令和 7 年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 29 条の規定により市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求める。

令和 7 年 8 月 22 日提出

能代市教育委員会教育長 高 橋 誠 也

提案理由

議会の議決を経るべき教育関係議案に対して市長から意見を求められたため、教育委員会の意見を求めようとするものである。

令和7年度能代市一般会計補正予算（第6号）歳入内訳

（単位：千円）

款 項 目	補正前の額	補 正 額	計	説 明
14款 国庫支出金				
2項 国庫補助金				
8目 教育費国庫補助金	125,886	3,608	129,494	○保健体育費補助金 物価高騰対応重点支援地方創生 臨時交付金 3,608
17款 寄附金				
1項 寄附金				
4目 教育費寄附金	0	172	172	○教育総務費寄附金 奨学基金寄附金 172
21款 市債				
1項 市債				
8目 教育債	1,479,300	3,600	1,482,900	○小学校債 学校施設整備事業債 2,400 ○社会教育債 指定避難所環境整備事業債 1,200

令和7年度能代市一般会計補正予算（第6号）歳出内訳

10款 教育費		1項 教育総務費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補正額	計	説	明
2 事務局費	313,436	845	314,281	車両管理費	845
3 教育助成費	140,739	172	140,911	奨学基金積立金	172

10款 教育費		2項 小学校費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補正額	計	説	明
1 学校管理費	186,517	0	186,517	財源振替による	0

10款 教育費		4項 社会教育費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補正額	計	説	明
1 社会教育総務費	311,863	296	312,159	文化財保護費	296
2 公民館費	245,632	0	245,632	財源振替による	0

10款 教育費		5項 保健体育費		(単位：千円)	
目	補正前の額	補正額	計	説	明
2 体育施設費	895,257	990	896,247	管理運営費	990
3 学校給食費	498,618	3,626	502,244	学校給食管理費	18
				学校給食無償化事業費	3,608